

令和3年度

第60回 市政世論調査

(令和3年7月～8月調査)

名古屋市

はじめに

名古屋市では、市民の皆さまのお考えやご意見などを把握するための調査広聴事業のひとつとして、昭和36年から、年に1回、市政世論調査を実施しております。

令和3年度の調査では、「名古屋の魅力・住みやすさについて」、「市政について」をテーマとして、市内にお住まいの満18歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた2,000の方を対象に調査させていただきました。調査の結果得られた貴重なデータは今後の市政運営のための参考資料とさせていただきます。

最後に、お忙しいところ、この市政世論調査にご協力いただきました多くの市民の皆さまに心からお礼申し上げます。

令和3年12月

名古屋市 市長

目次

I 調査の概要

1	調査のテーマ・趣旨	1
2	調査の設計・回収結果	1
3	調査項目	2
4	調査結果の見方について	3
5	標本誤差	4
6	標本構成	5

II 調査結果の概要

1	名古屋の魅力・住みやすさについて	9
2	市政について	11

III 調査結果の詳細

1	名古屋の魅力・住みやすさについて	13
(1)	名古屋の良いところ (問1)	13
(2)	名古屋の悪いところ (問2)	16
(3)	名古屋の住みやすさ (問3)	19
(4)	住みやすい点 (問4)	21
(5)	住みにくい点 (問5)	24
(6)	今の地域での居留意向 (問6)	27
(7)	転居したい地域 (問7)	29
(8)	名古屋への愛着度 (問8)	32
(9)	名古屋の自慢できること (問9)	35
(10)	「生きがい」と感じるもの (問10)	37
(11)	今後の生活で不安に感じること (問11)	39
(12)	家庭の生活の程度 (問12)	41
(13)	生活の満足度 (問13)	43
(14)	生活に満足している理由 (問14)	45
(15)	生活に不満である理由 (問15)	47

2 市政について	49
(1) 市政への関心 (問 16)	49
(2) 市政に関心がある理由 (問 17)	51
(3) 市政に関心がない理由 (問 18)	53
(4) 市政への評価と要望 (問 19・20)	55
①市政への評価 (問 19)	57
②市政への要望 (問 20)	68
(5) 市の行政改革の取り組みへの評価 (問 21)	79
(6) 市の行政改革の取り組みへの要望 (問 22)	81
(7) 市政への意見・要望 (問 23)	83

IV 使用調査票

1 使用調査票	91
---------	----

I 調査の概要

1 調査のテーマ・趣旨

(1) 名古屋の魅力・住みやすさについて

名古屋のまちの住みやすさなどについての市民の印象を聞き、市政の参考とします。

(所管:スポーツ市民局市民生活部広聴課)

(2) 市政について

市政への関心について聞くとともに、名古屋市基本構想に基づく本市市政の 30 項目について、市民の評価と要望を把握して、市政運営の参考とします。

(所管:総務局企画部企画課)

また、行政改革への取り組みについて、市民の評価と要望を把握して、市政運営の参考とします。

(所管:総務局行政部行政改革推進室)

2 調査の設計・回収結果

- | | |
|-------------|--|
| (1) 調査地域 | 市内 16 区全域 |
| (2) 調査対象 | 名古屋市内に居住する満 18 歳以上の男女 (外国人を含む) |
| (3) 標本数 | 2,000 人 |
| (4) 標本抽出法 | 住民基本台帳をフレームとする無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送法 |
| (6) 調査期間 | 令和 3 年 7 月 27 日 (火) ~ 令和 3 年 8 月 10 日 (火) |
| (7) 回収結果 | 調査標本数 2,000 人
標本回収数 974 人
回収率 48.7 % |
| (8) 質問数 | 23 問 (他にフェイス項目 7 問) |
| (9) 調査主体 | スポーツ市民局市民生活部広聴課 |
| (10) 委託調査機関 | コムワークスエンジニアリング株式会社 |

3 調査項目

名古屋の魅力・住みやすさについて

- | | |
|---------------------|--------------|
| (1) 名古屋の良いところ | (問 1 ・複数回答) |
| (2) 名古屋の悪いところ | (問 2 ・複数回答) |
| (3) 名古屋の住みやすさ | (問 3 ・単一回答) |
| (4) 住みやすい点 | (問 4 ・複数回答) |
| (5) 住みにくい点 | (問 5 ・複数回答) |
| (6) 今の地域での居住意向 | (問 6 ・単一回答) |
| (7) 転居したい地域 | (問 7 ・単一回答) |
| (8) 名古屋への愛着度 | (問 8 ・単一回答) |
| (9) 名古屋の自慢できること | (問 9 ・単一回答) |
| (10) 「生きがい」と感じるもの | (問 10 ・単一回答) |
| (11) 今後の生活で不安に感じること | (問 11 ・複数回答) |
| (12) 家庭の生活の程度 | (問 12 ・単一回答) |
| (13) 生活の満足度 | (問 13 ・単一回答) |
| (14) 生活に満足している理由 | (問 14 ・複数回答) |
| (15) 生活に不満である理由 | (問 15 ・複数回答) |

市政について

- | | |
|---------------------|--------------|
| (1) 市政への関心 | (問 16 ・単一回答) |
| (2) 市政に関心がある理由 | (問 17 ・複数回答) |
| (3) 市政に関心がない理由 | (問 18 ・複数回答) |
| (4) ①市政への評価 | (問 19 ・複数回答) |
| ②市政への要望 | (問 20 ・複数回答) |
| (5) 市の行政改革の取り組みへの評価 | (問 21 ・複数回答) |
| (6) 市の行政改革の取り組みへの要望 | (問 22 ・複数回答) |
| (7) 市政への意見・要望 | (問 23 ・自由記載) |

4 調査結果の見方について

- (1) 比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、合計が100%にならないこともあります。
- (2) 複数回答が可能な質問では、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をします。このため、各項目の比率の合計は通常100%を超えます。
- (3) 調査結果では、質問文の最後に(SA)(MA)の表示があります。SA(Single Answer)は回答を1つだけ選ぶ単一回答の質問、MA(Multiple Answer)は複数回答が可能な質問であることを表しています。単一回答の質問において、複数を選択している場合は「無効」とし、「無回答」に含めて集計しています。
- (4) 本報告書中の文章、表、グラフ等の見出しの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。
- (5) クロス集計は、対象者の属性や関連の高い質問を分析軸として行い、比率については全体との差が大きいもの(概ね5ポイント以上の差を目安)や特徴的なものなどについて、主なものにコメントしました。また、回答対象者が少なく、標本誤差*が大きいと考えられる項目などについては、基本的に分析の対象外としています。

* 標本誤差についてはP. 4参照

■比較調査の詳細

調査名	概要
市政世論調査 (平成5年度)	対 象 者：満20歳以上の市民 2,500人 調 査 方 法：面接調査法
市政2万人アンケート (平成10年度)	対 象 者：満18歳以上の市民 20,000人 調 査 方 法：郵送法
市政世論調査 (平成13年度～平成21年度)	対 象 者：満20歳以上の市民 2,500人 調 査 方 法：留置法
市政世論調査 (平成22年度～平成27年度)	対 象 者：満20歳以上の市民 2,000人 調 査 方 法：郵送法
市政世論調査 (平成28年度～令和2年度)	対 象 者：満18歳以上の市民 2,000人 調 査 方 法：郵送法

※ 各質問の経年比較などはそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています。

5 標本誤差

調査結果については、統計上多少の誤差（標本誤差）が生じることがあり、調査結果を見る場合には、次のような一定の幅を持たせて見る必要があります。

この調査の標本誤差は次の公式により計算されます。

$$\sigma = 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

ただし σ = 標本誤差
 n = 回収数
 P = 回答率

この公式によって計算された標本誤差は次のとおりです。

標本誤差早見表（信頼度：95%）

（単位：%）

P \ n	10 または 90	20 または 80	30 または 70	40 または 60	50
50	± 8.5	± 11.3	± 13.0	± 13.9	± 14.1
100	± 6.0	± 8.0	± 9.2	± 9.8	± 10.0
300	± 3.5	± 4.6	± 5.3	± 5.7	± 5.8
500	± 2.7	± 3.6	± 4.1	± 4.4	± 4.5
800	± 2.1	± 2.8	± 3.2	± 3.5	± 3.5
974	± 1.9	± 2.6	± 2.9	± 3.1	± 3.2
1,000	± 1.9	± 2.5	± 2.9	± 3.1	± 3.2
1,200	± 1.7	± 2.3	± 2.6	± 2.8	± 2.9
1,500	± 1.5	± 2.1	± 2.4	± 2.5	± 2.6
2,000	± 1.3	± 1.8	± 1.8	± 2.2	± 2.2

《この表の見方》

例えば、回答者数が 974 である質問における、ある 1 つの選択肢の回答比率が 30%であった場合、その回答の比率の誤差の範囲は±2.9%（27.1%～32.9%）の範囲にあることが 95%の信頼度でいえることとなります。

6 標本構成

(1) 性別

	回答数	割合
男性	442	45.4%
女性	516	53.0%
無回答	16	1.6%
合計	974	100.0%

(2) 年代別

	回答数	割合
10 歳代	16	1.6%
20 歳代	69	7.1%
30 歳代	111	11.4%
40 歳代	176	18.1%
50 歳代	178	18.3%
60 歳代	159	16.3%
70 歳以上	250	25.7%
無回答	15	1.5%
合計	974	100.0%

(3) 性・年代別

	男性		女性		性別無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10 歳代	9	0.9%	7	0.7%	0	0.0%
20 歳代	31	3.2%	38	3.9%	0	0.0%
30 歳代	43	4.4%	67	6.9%	1	0.1%
40 歳代	82	8.4%	94	9.7%	0	0.0%
50 歳代	83	8.5%	95	9.8%	0	0.0%
60 歳代	75	7.7%	84	8.6%	0	0.0%
70 歳以上	118	12.1%	131	13.4%	1	0.1%
無回答	1	0.1%	0	0.0%	14	1.4%
合計	442	45.4%	516	53.0%	16	1.6%

(4) 職業別

	回答数	割合
会社員（フルタイム）	299	30.7%
公務員	30	3.1%
自営・自由業	72	7.4%
アルバイト・パート（派遣も含む）	173	17.8%
家事専業	126	12.9%
学生	29	3.0%
無職	185	19.0%
その他	43	4.4%
無回答	17	1.7%
合計	974	100.0%

(5) 居住区別

	回答数	割合
千種区	61	6.3%
東区	28	2.9%
北区	74	7.6%
西区	68	7.0%
中村区	54	5.5%
中区	32	3.3%
昭和区	51	5.2%
瑞穂区	48	4.9%
熱田区	24	2.5%
中川区	102	10.5%
港区	55	5.6%
南区	53	5.4%
守山区	76	7.8%
緑区	104	10.7%
名東区	54	5.5%
天白区	71	7.3%
無回答	19	2.0%
合計	974	100.0%

(6) 出生地別

	回答数	割合
生まれてからずっと名古屋に住んでいる (通学や転勤で一時的に名古屋を離れた方も含む)	444	45.6%
名古屋市以外から引っ越してきた	509	52.3%
無回答	21	2.2%
合計	974	100.0%

(7) 転入前の居住地別

	回答数	割合
東海三県 (愛知・岐阜・三重から)	245	48.1%
東海三県以外から	259	50.9%
無回答	5	1.0%
合計	509	100.0%

(8) 居住歴別

	回答数	割合
5年未満	57	5.9%
5年以上10年未満	58	6.0%
10年以上20年未満	104	10.7%
20年以上30年未満	122	12.5%
30年以上	615	63.1%
無回答	18	1.8%
合計	974	100.0%

II 調査結果の概要

1 名古屋の魅力・住みやすさについて

(1) 名古屋の良いところは「地理的に日本各地への移動が便利」が6割以上

名古屋の誇れるところや良いところをたずねたところ、「地理的に日本各地への移動が便利」(65.7%)と答えた人が6割以上で最も多く、次いで「名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし)」(44.1%)、「ものづくりの拠点としての技術水準の高さ」(43.8%)、「名古屋の水道水がおいしい」(43.7%)、「三英傑ゆかりの地で歴史がある」(39.6%)、「道路が広くて整備されている」(38.2%)と続いています。(問1・MA)

(2) 名古屋の悪いところは「夏が蒸し暑い」が6割以上

名古屋の悪いところや嫌いなところをたずねたところ、「夏が蒸し暑い」(63.8%)と答えた人が6割以上で最も多く、次いで「観光名所が少ない」(48.9%)、「交通マナーが悪い」(41.6%)と続いています。(問2・MA)

(3) 名古屋が住みやすいと思う人は約9割

名古屋が「住みやすい」と思うかとたずねたところ、「住みやすい」と答えた人は46.3%、「どちらかといえば住みやすい」と答えた人は43.2%で、あわせると、名古屋が住みやすいと思う人は約9割(89.5%)でした。

一方、「住みにくい」と答えた人は1.4%、「どちらかといえば住みにくい」と答えた人は3.9%で、あわせると、名古屋が住みにくいと思う人は1割未満(5.3%)でした。(問3・SA)

(4) 名古屋の住みやすい点は「買い物する場所などが近くにあって生活に便利」が約7割

名古屋が住みやすいと答えた人に、その理由をたずねたところ、「買い物する場所などが近くにあって生活に便利」(71.0%)と答えた人が約7割と多く、次いで「交通の便がよい」(65.4%)、「住環境がよい」(37.6%)と続いています。(問4・MA)

(5) 名古屋の住みにくい点は「交通の便が悪い」が約4割

名古屋が住みにくいと答えた人に、その理由をたずねたところ、「交通の便が悪い」(42.3%)が約4割と多く、次いで「買い物する場所などが近くになく生活に不便」(32.7%)、「スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない」(28.8%)、「緑や川などの自然環境に問題がある」(26.9%)、「建物や歩道のバリアフリー化(段差などが無いこと)が遅れている」(25.0%)、「治安が悪い」(25.0%)と続いています。(問5・MA)

(6) 今の地域での居住意向は約8割

今の地域にずっと住み続けたいかとたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人は43.8%、「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人は37.7%で、あわせると、今の地域に住み続けたい人は約8割(81.5%)でした。

一方、「転居したい」と答えた人は2.3%、「どちらかといえば転居したい」と答えた人は7.4%で、あわせると、転居したい人は約1割(9.7%)でした。(問6・SA)

(7) 転居したい地域は愛知県外が約4割

今の地域から転居したい人に、どこに転居したいかとたずねたところ、「愛知県外」(39.4%)と答えた人が約4割と多く、次いで「具体的にはわからない」(27.7%)、「名古屋市内の別の区」(17.0%)と続いています。(問7・SA)

(8) 名古屋に愛着を感じている人は約8割

名古屋に「自分のまち」としての「愛着」を感じているかとたずねたところ、「感じている」と答えた人は34.8%、「どちらかといえば感じている」と答えた人は45.2%で、あわせると、名古屋に愛着を感じている人は約8割(80.0%)でした。

一方、「感じていない」と答えた人は6.3%、「どちらかといえば感じていない」と答えた人は8.2%で、あわせると、名古屋に愛着を感じていない人は1割以上(14.5%)でした。

(問8・SA)

(9) 名古屋に自慢できることがある人ない人どちらも約4割

名古屋によそのまちと比べて自慢できることがあるかとたずねたところ、「たくさんある」と答えた人は5.0%、「いくつかはある」と答えた人は33.9%で、あわせると、名古屋に自慢できることがある人は約4割(38.9%)でした。

また、「まったくない」と答えた人は2.4%、「あまりない」と答えた人は38.1%で、あわせると、名古屋に自慢できることがない人も約4割(40.5%)でした。(問9・SA)

(10) 生きがいとを感じるものがある人と、積極的に取り組んでいるものがある人は3割台

「生きがい」と感じるものがあるかとたずねたところ、「生きがいと感じているものがある」と答えた人は31.8%、「生きがいとまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある」と答えた人は30.7%で、ともに3割台でした。

一方、「特にない」と答えた人は31.2%でした。(問10・SA)

(11) 今後の生活で不安に感じることは「自分の健康・病気」が6割以上

今後の生活を考えたとき不安に感じることをたずねたところ、「自分の健康・病気」(64.9%)と答えた人が6割以上で最も多く、次いで「家族の健康・病気」(56.8%)、「老後の生活」(55.5%)と続いています。(問11・MA)

(12) 家庭の生活の程度は「中の中」が約5割

家庭の生活の程度は、世間一般からみてどうだと思ふかとたずねたところ、「中の中」(48.9%)と答えた人が約5割で最も多く、次いで「中の下」(22.1%)、「中の上」(19.7%)と続いています。(問12・SA)

(13) 現在の生活に満足している人は7割以上

現在の生活に満足しているかとたずねたところ、「満足している」と答えた人は19.6%、「どちらかといえば満足している」と答えた人は54.7%で、あわせると、満足している人は7割以上(74.3%)でした。

一方、「不満である」と答えた人は4.5%、「どちらかといえば不満である」と答えた人は15.4%で、あわせると、不満である人は約2割(19.9%)でした。(問13・SA)

(14) 生活に満足している理由は「健康であるから」が約6割

現在の生活に満足していると答えた人に、その理由をたずねたところ、「健康であるから」(60.8%)と答えた人が約6割と多く、次いで「家族との生活が充実しているから」(55.2%)、「食生活が豊かだから」(39.0%)と続いています。(問14・MA)

(15) 生活に不満である理由は「貯蓄が十分でないから」が約7割

現在の生活に不満であると答えた人に、その理由をたずねたところ、「貯蓄が十分でないから」(69.1%)と答えた人が約7割で最も多く、次いで「悩みや心配事があるから」(36.6%)、「健康でないから」(24.7%)、「住生活が不十分だから」(22.7%)、「仕事や勉強がうまくいっていないから」(22.7%)と続いています。(問15・MA)

2 市政について

(1) 市政に関心がある人は5割以上

市政(市の施策や事業など)に関心があるかとたずねたところ、「とても関心がある」と答えた人は10.1%、「どちらかといえば関心がある」と答えた人は44.8%で、あわせると、市政に関心がある人は5割以上(54.9%)でした。

一方、「まったく関心がない」と答えた人は4.6%、「どちらかといえば関心がない」と答えた人は30.2%で、あわせると、市政に関心がない人は3割以上(34.8%)でした。(問16・SA)

(2) 市政に関心がある理由は「自分の生活と密接な関係があるから」が約7割

市政に関心があると答えた人に、その理由をたずねたところ、「自分の生活と密接な関係があるから」(67.0%)と答えた人が約7割で最も多く、次いで「税金を払っているから」(43.4%)、「自分の住むまちに愛着があるから」(40.6%)と続いています。(問17・MA)

(3) 市政に関心がない理由は「市政がわかりにくいから」が約5割

市政に関心がないと答えた人に、その理由をたずねたところ、「市政がわかりにくいから」(50.1%)と答えた人が約5割で最も多く、次いで「国や地方の政治に関心がないから」(25.4%)、「自分の生活にあまり関係がないから」(24.2%)、「忙しくて考える暇がないから」(21.8%)と続いています。(問18・MA)

(4)

① 市政への評価で高く評価された分野は「ごみの減量と処理」、「高齢者福祉」

名古屋市が特によく取り組んでいると思う事業の分野をたずねたところ、「ごみの減量と処理」(21.7%)、「高齢者福祉」(20.8%)が約2割となり、これらに次いで「健康・医療」(17.7%)、「公共交通」(15.1%)、「児童福祉」(14.3%)と続いています。(問19・MA)

② 市政への要望が高い分野は「高齢者福祉」と「健康・医療」

名古屋市に特に力を入れて進めてほしいと思う事業の分野をたずねたところ、「高齢者福祉」(39.6%)、「健康・医療」(38.6%)と答えた人が約4割となり、これらに次いで「災害の防止」(30.2%)、学校教育(24.8%)、公共交通(24.7%)と続いています。(問20・MA)

(5) 市の行政改革の取り組みへの評価は「わからない」が約5割

市の行政改革の取り組みのなかで、名古屋市が特によく取り組んでいると思うことをたずねたところ、「わからない」と答えた人は約5割(50.4%)でした。

評価されているものの中では、「市政に関する情報提供」(9.3%)、「職員の意識改革、資質の向上」(7.2%)、「IT活用による利便性の高いサービスの提供(電子申請始め電子行政サービスの推進など)」(6.7%)、「業務の民間委託や民営化」(6.0%)、「職員数の見直し」(5.3%)と続いています。(問21・MA)

(6) 市の行政改革の取り組みへの要望は「職員の意識改革、資質の向上」が約3割

市の行政改革の取り組みのなかで、名古屋市に特に力を入れて進めてほしいと思うことをたずねたところ、「職員の意識改革、資質の向上」(31.6%)と答えた人が約3割となり、次いで「IT活用による利便性の高いサービスの提供(電子申請始め電子行政サービスの推進など)」(26.2%)、「外郭団体の見直し(財政的・人的関与の見直し)」(20.4%)、「わからない」(18.7%)、「職員数の見直し」(18.3%)と続いています。(問22・MA)

(7) 市政についての意見・要望

今後の名古屋市の施策や事業について自由なご意見をたずねたところ、回答率は27.8%であり、回答総数では492件となりました。

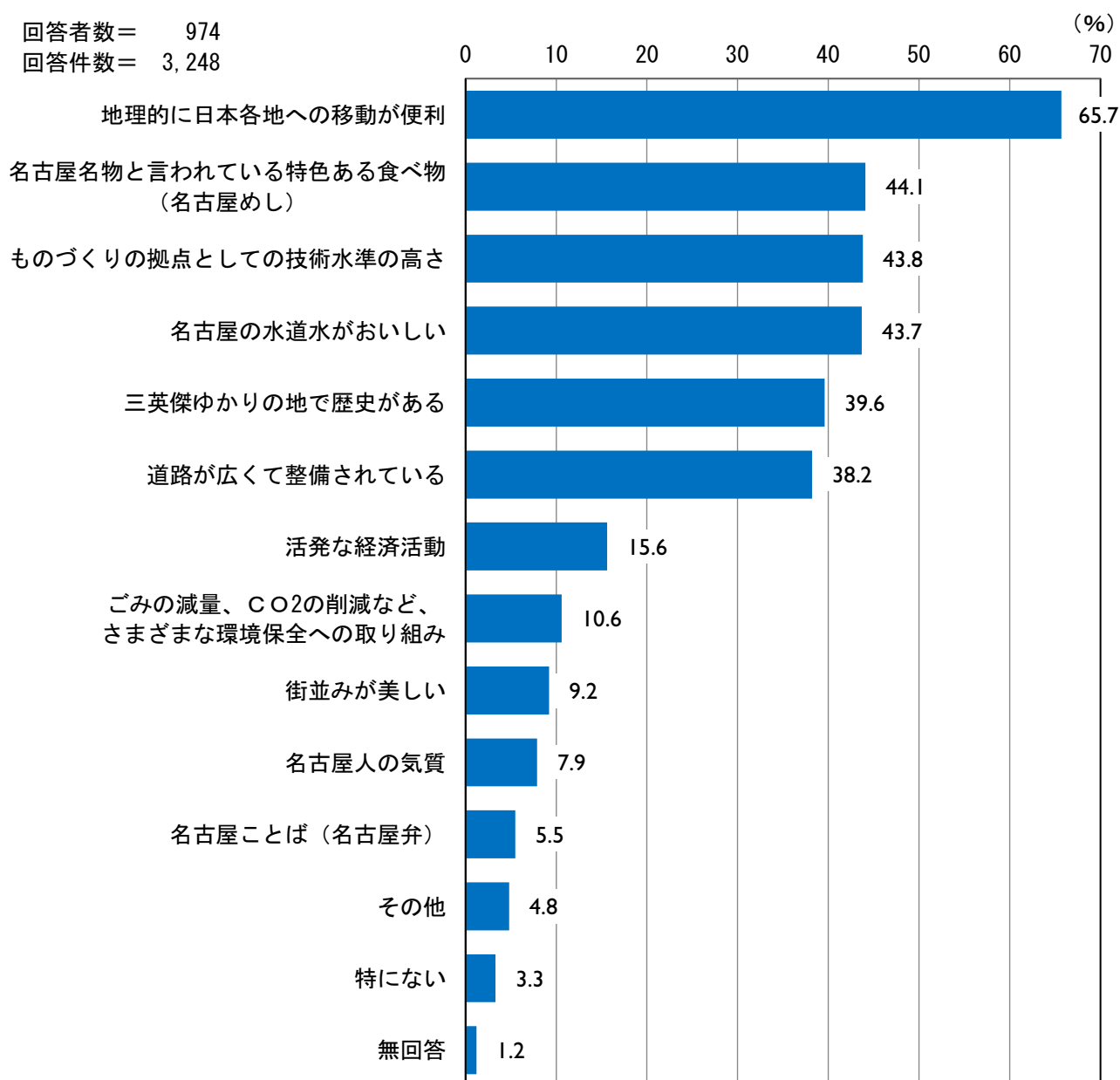
名古屋市基本構想に基づき構成した30項目及びその他1項目で該当する意見の件数をとりまとめたところ、「その他」を除くと、「市民サービス」に関する意見が最も多く寄せられ、次いで「市街地の整備」、「道路交通」、「観光・MICE」、「児童福祉」と続いています。

(問23・自由記載)

Ⅲ 調査結果の詳細

1 名古屋の魅力・住みやすさについて

(1) 名古屋の良いところ（問1・MA）



- ◆ 名古屋の誇れるところや良いところをたずねたところ、「地理的に日本各地への移動が便利」（65.7%）と答えた人が6割以上で最も多く、次いで「名古屋名物と言われている特色ある食べ物（名古屋めし）」（44.1%）、「ものづくりの拠点としての技術水準の高さ」（43.8%）、「名古屋の水道水がおいしい」（43.7%）、「三英傑ゆかりの地で歴史がある」（39.6%）、「道路が広くて整備されている」（38.2%）と続いています。

		地理的に日本各地への移動が便利	名古屋名物と言われている 特色ある食べ物（名古屋めし）	ものづくりの拠点としての 技術水準の高さ	名古屋の水道水がおいしい	三英傑ゆかりの地で歴史がある	道路が広くて整備されている	活発な経済活動	ごみの減量、CO2の削減など、 さまざまな環境保全への取り組み	街並みが美しい	名古屋人の気質	名古屋ことば（名古屋弁）	その他	特にな	無回答	回答者数	回答個数（平均）
全体		65.7	44.1	43.8	43.7	39.6	38.2	15.6	10.6	9.2	7.9	5.5	4.8	3.3	1.2	974	3.3
性別	男性	65.8	41.6	45.9	38.2	39.1	41.9	18.6	7.2	7.9	6.1	5.9	4.1	2.9	0.9	442	3.3
	女性	65.7	46.9	42.1	48.3	39.7	35.5	13.0	13.6	10.3	8.9	5.4	5.2	3.7	1.4	516	3.4
年代別	10歳代	75.0	68.8	31.3	50.0	31.3	12.5	6.3	0.0	18.8	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	16	3.1
	20歳代	65.2	46.4	18.8	24.6	14.5	23.2	13.0	1.4	2.9	1.4	2.9	7.2	5.8	0.0	69	2.3
	30歳代	60.4	47.7	26.1	25.2	24.3	23.4	13.5	2.7	3.6	9.0	4.5	1.8	7.2	2.7	111	2.5
	40歳代	67.6	54.0	47.7	28.4	34.1	22.2	17.0	4.0	4.5	5.1	5.1	6.8	2.3	1.1	176	3.0
	50歳代	67.4	52.2	46.6	44.9	43.8	41.0	17.4	9.0	5.6	5.6	5.1	5.1	2.2	0.0	178	3.5
	60歳代	64.8	39.6	52.8	43.4	40.9	44.7	14.5	6.3	11.3	6.9	1.9	4.4	2.5	1.3	159	3.4
	70歳以上	66.4	31.6	49.6	66.8	53.2	56.8	16.8	26.0	17.2	12.8	10.0	3.6	3.2	1.6	250	4.2
性×年代別	男性10歳代	77.8	77.8	44.4	55.6	33.3	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	9	3.3
	20歳代	61.3	51.6	32.3	32.3	16.1	35.5	19.4	0.0	3.2	0.0	3.2	3.2	3.2	0.0	31	2.6
	30歳代	60.5	48.8	25.6	18.6	27.9	25.6	16.3	2.3	4.7	7.0	4.7	2.3	7.0	2.3	43	2.5
	40歳代	64.6	58.5	52.4	25.6	32.9	25.6	20.7	2.4	7.3	4.9	7.3	3.7	1.2	1.2	82	3.1
	50歳代	69.9	43.4	43.4	27.7	42.2	41.0	21.7	4.8	3.6	7.2	2.4	4.8	2.4	0.0	83	3.1
	60歳代	61.3	32.0	50.7	38.7	41.3	44.0	18.7	4.0	9.3	6.7	4.0	8.0	2.7	0.0	75	3.2
	70歳以上	69.5	26.3	51.7	61.0	50.0	61.9	16.9	18.6	12.7	6.8	9.3	2.5	3.4	1.7	118	3.9
	女性10歳代	71.4	57.1	14.3	42.9	28.6	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	7	2.7
	20歳代	68.4	42.1	7.9	18.4	13.2	13.2	7.9	2.6	2.6	2.6	2.6	10.5	7.9	0.0	38	2.0
	30歳代	59.7	47.8	25.4	28.4	22.4	22.4	10.4	3.0	3.0	10.4	4.5	1.5	7.5	3.0	67	2.5
	40歳代	70.2	50.0	43.6	30.9	35.1	19.1	13.8	5.3	2.1	5.3	3.2	9.6	3.2	1.1	94	2.9
	50歳代	65.3	60.0	49.5	60.0	45.3	41.1	13.7	12.6	7.4	4.2	7.4	5.3	2.1	0.0	95	3.7
	60歳代	67.9	46.4	54.8	47.6	40.5	45.2	10.7	8.3	13.1	7.1	0.0	1.2	2.4	2.4	84	3.5
	70歳以上	63.4	35.9	47.3	71.8	55.7	51.9	16.0	32.8	21.4	17.6	10.7	4.6	3.1	1.5	131	4.3
地出別	名古屋市	64.4	49.1	46.4	51.4	44.1	39.0	14.4	12.8	9.7	11.7	7.7	4.7	3.6	1.1	444	3.6
	名古屋市以外	67.0	40.7	42.4	37.1	35.6	38.5	17.1	8.8	8.8	4.3	3.9	4.5	3.1	1.0	509	3.1
居住歴別	5年未満	64.9	40.4	28.1	5.3	21.1	22.8	14.0	1.8	15.8	0.0	1.8	5.3	5.3	1.8	57	2.3
	5年以上10年未満	69.0	41.4	34.5	19.0	29.3	43.1	24.1	3.4	3.4	3.4	3.4	6.9	1.7	1.7	58	2.8
	10年以上20年未満	68.3	52.9	43.3	32.7	29.8	24.0	17.3	2.9	5.8	2.9	3.8	4.8	2.9	0.0	104	2.9
	20年以上30年未満	68.0	45.1	41.8	30.3	27.9	29.5	14.8	1.6	4.1	5.7	2.5	5.7	3.3	0.0	122	2.8
	30年以上	64.9	43.9	47.0	54.3	46.2	43.7	15.1	15.3	10.7	9.9	7.2	4.1	3.4	1.3	615	3.7

(単位：%)

(上位5項目の過去との比較)

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和3年度	地理的に日本各地への移動が便利 65.7%	名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし) 44.1%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 43.8%	名古屋の水道水がおいしい 43.7%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 39.6%
令和2年度	地理的に日本各地への移動が便利 64.0%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 45.7%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 44.7%	名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし) 41.7%	名古屋の水道水がおいしい 39.1%
令和元年度	地理的に日本各地への移動が便利 63.2%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 49.2%	名古屋の水道水がおいしい 47.4%	名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし) 41.9%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 40.2%
平成30年度	地理的に日本各地への移動が便利 61.5%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 48.4%	道路が広くて整備されている 42.9%	名古屋の水道水がおいしい 42.8%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 42.0%
平成29年度	地理的に日本各地への移動が便利 60.6%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 46.2%	名古屋の水道水がおいしい 43.5%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 43.1%	名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし) 42.8%
平成28年度	地理的に日本各地への移動が便利 63.7%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 47.4%	名古屋の水道水がおいしい 45.7%	道路が広くて整備されている 43.8%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 40.1%
					名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし) 40.1%

【上位5項目の経年比較】

「地理的に日本各地への移動が便利」は、平成28年度以降、第1位で変わりありません。前回第4位であった「名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし)」が第2位になっています。

また、令和2年度まで第2位であった「ものづくりの拠点としての技術水準の高さ」が第3位、前回第5位であった「名古屋の水道水がおいしい」が第4位、前回第3位であった「三英傑ゆかりの地で歴史がある」が第5位、前回第5位だった「道路が広くて整備されている」が今回の調査で上位5項目外になっています。

【性別比較】

「名古屋の水道水がおいしい」と答えた人の割合は、女性(48.3%)の方が、男性(38.2%)より、10.1ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし)」と答えた人の割合は、10歳代(68.8%)が最も高く、最も低い70歳以上(31.6%)より、37.2ポイント高くなっています。

【性・年代別比較】

「地理的に日本各地への移動が便利」と答えた人の割合は、10歳代男性(77.8%)の方が、30歳代女性(59.7%)より、18.1ポイント高くなっています。

【出生地別比較】

「名古屋の水道水がおいしい」と答えた人の割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人(51.4%)の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人(37.1%)より、14.3ポイント高くなっています。

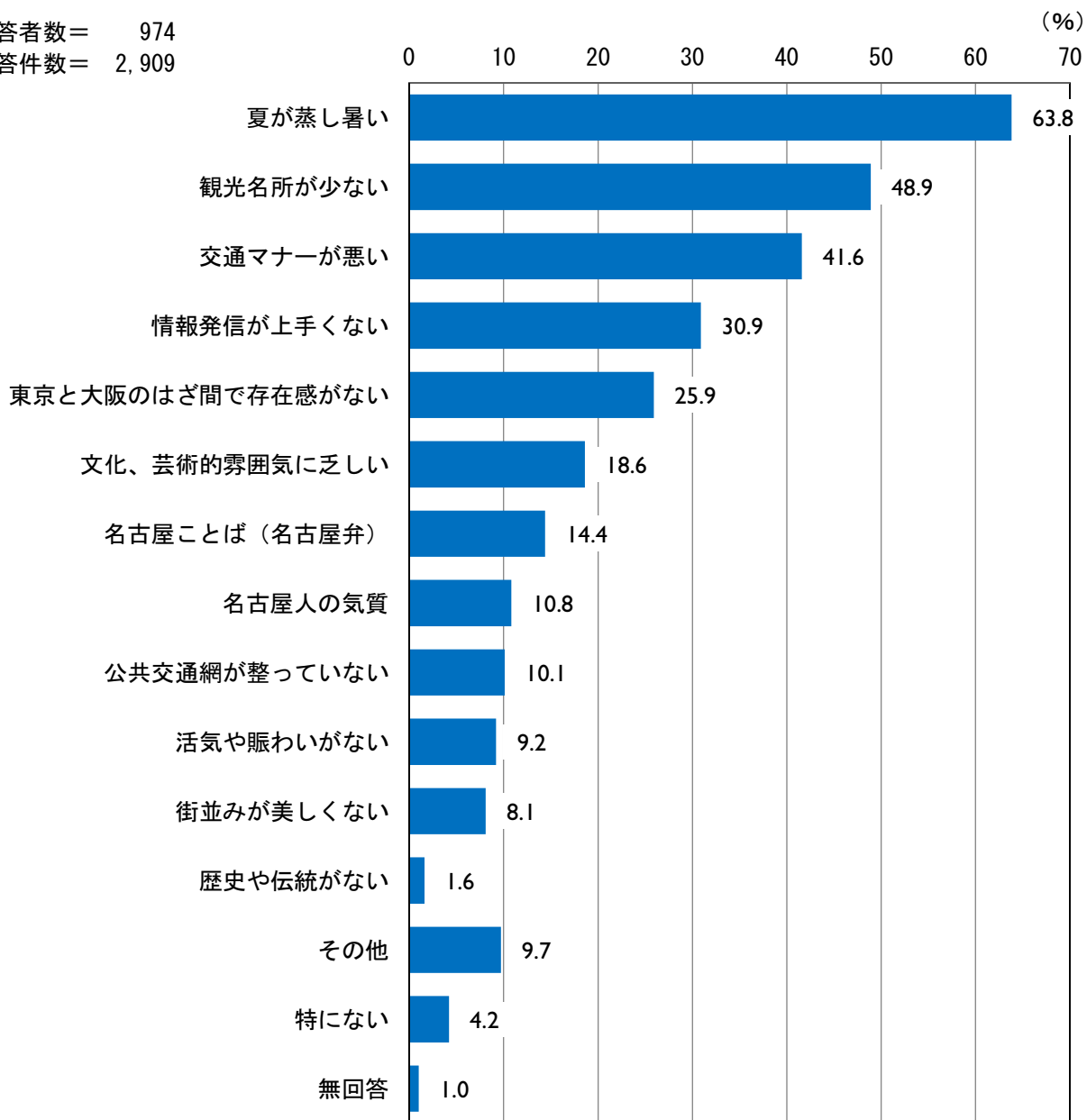
【居住歴別比較】

「ものづくりの拠点としての技術水準の高さ」と答えた人の割合は、30年以上(47.0%)の方が、5年未満(28.1%)より18.9ポイント高くなっています。

(2) 名古屋の悪いところ (問2・MA)

回答者数 = 974

回答件数 = 2,909



◆ 名古屋の悪いところや嫌いなところをたずねたところ、「夏が蒸し暑い」(63.8%)と答えた人が6割以上で最も多く、次いで「観光名所が少ない」(48.9%)、「交通マナーが悪い」(41.6%)と続いています。

		夏が蒸し暑い	観光名所が少ない	交通マナーが悪い	情報発信が上手くない	東京と大阪のはざ間で存在感がない	文化、芸術的雰囲気乏しい	名古屋ことば（名古屋弁）	名古屋人の気質	公共交通網が整っていない	活気や賑わいがない	街並みが美しくない	歴史や伝統がない	その他	特にな	無回答	回答者数	回答個数（平均）
	全体	63.8	48.9	41.6	30.9	25.9	18.6	14.4	10.8	10.1	9.2	8.1	1.6	9.7	4.2	1.0	974	3.0
性別	男性	57.7	49.3	45.7	35.1	26.5	17.0	12.4	10.6	14.7	10.6	9.3	1.4	10.6	3.8	0.9	442	3.1
	女性	69.2	48.3	38.4	27.5	25.4	19.4	15.9	10.5	6.0	8.1	6.6	1.9	8.1	4.7	1.0	516	2.9
年代別	10歳代	68.8	81.3	62.5	18.8	25.0	6.3	12.5	18.8	6.3	6.3	18.8	0.0	6.3	6.3	0.0	16	3.4
	20歳代	60.9	60.9	47.8	14.5	20.3	10.1	10.1	5.8	13.0	4.3	11.6	1.4	7.2	5.8	0.0	69	2.7
	30歳代	61.3	55.9	54.1	19.8	18.0	11.7	11.7	15.3	5.4	7.2	10.8	1.8	18.0	1.8	1.8	111	2.9
	40歳代	60.2	47.7	54.0	30.7	28.4	17.0	11.4	17.0	6.8	10.8	8.0	1.1	11.4	3.4	0.6	176	3.1
	50歳代	62.4	48.3	37.6	37.6	25.8	18.5	8.4	9.6	14.0	10.7	7.9	1.7	7.9	2.2	0.0	178	2.9
	60歳代	63.5	47.2	32.7	36.5	25.2	20.8	13.8	3.8	9.4	5.7	6.3	1.9	10.7	6.9	0.0	159	2.8
	70歳以上	69.2	42.0	33.2	33.2	29.2	23.6	23.2	9.6	11.2	12.0	6.4	2.0	5.2	5.2	2.4	250	3.1
性×年代別	男性10歳代	66.7	77.8	77.8	22.2	22.2	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	9	3.3
	20歳代	61.3	61.3	45.2	19.4	16.1	9.7	6.5	3.2	12.9	6.5	12.9	0.0	0.0	9.7	0.0	31	2.6
	30歳代	53.5	53.5	65.1	23.3	20.9	9.3	4.7	11.6	7.0	7.0	14.0	2.3	20.9	2.3	2.3	43	3.0
	40歳代	54.9	51.2	58.5	36.6	32.9	13.4	7.3	12.2	11.0	9.8	7.3	0.0	13.4	3.7	0.0	82	3.1
	50歳代	55.4	48.2	41.0	44.6	27.7	16.9	2.4	12.0	19.3	14.5	12.0	2.4	12.0	2.4	0.0	83	3.1
	60歳代	56.0	42.7	38.7	44.0	24.0	24.0	16.0	4.0	16.0	6.7	8.0	1.3	10.7	4.0	0.0	75	3.0
	70歳以上	61.9	45.8	35.6	31.4	27.1	21.2	25.4	13.6	16.9	14.4	6.8	1.7	7.6	3.4	2.5	118	3.2
	女性10歳代	71.4	85.7	42.9	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	7	3.4
	20歳代	60.5	60.5	50.0	10.5	23.7	10.5	13.2	7.9	13.2	2.6	10.5	2.6	13.2	2.6	0.0	38	2.8
	30歳代	67.2	58.2	47.8	17.9	16.4	13.4	16.4	17.9	4.5	7.5	7.5	1.5	14.9	1.5	1.5	67	2.9
	40歳代	64.9	44.7	50.0	25.5	24.5	20.2	14.9	21.3	3.2	11.7	8.5	2.1	9.6	3.2	1.1	94	3.1
	50歳代	68.4	48.4	34.7	31.6	24.2	20.0	13.7	7.4	9.5	7.4	4.2	1.1	4.2	2.1	0.0	95	2.8
	60歳代	70.2	51.2	27.4	29.8	26.2	17.9	11.9	3.6	3.6	4.8	4.8	2.4	10.7	9.5	0.0	84	2.7
70歳以上	75.6	38.2	31.3	35.1	31.3	25.2	21.4	6.1	6.1	9.9	5.3	2.3	3.1	6.9	2.3	131	3.0	
地出生別	名古屋市	62.8	52.5	37.6	36.5	27.3	19.1	12.4	8.1	11.9	9.7	7.7	1.4	9.5	4.1	0.9	444	3.0
	名古屋市以外	64.6	45.4	45.6	26.1	24.8	17.7	16.1	12.8	8.4	9.0	8.3	2.0	9.4	4.5	0.8	509	3.0
居住歴別	5年未満	61.4	50.9	45.6	19.3	17.5	12.3	7.0	14.0	7.0	7.0	12.3	1.8	10.5	8.8	1.8	57	2.8
	5年以上10年未満	55.2	51.7	63.8	19.0	34.5	20.7	8.6	15.5	6.9	12.1	10.3	3.4	15.5	1.7	0.0	58	3.2
	10年以上20年未満	68.3	49.0	63.5	26.0	25.0	14.4	12.5	19.2	2.9	4.8	9.6	1.9	8.7	1.9	0.0	104	3.1
	20年以上30年未満	60.7	49.2	43.4	24.6	20.5	17.2	16.4	10.7	16.4	9.8	7.4	0.0	11.5	5.7	0.0	122	2.9
	30年以上	64.9	48.1	35.1	35.4	27.0	19.7	15.4	8.1	10.4	9.8	7.3	1.8	8.5	4.2	1.1	615	3.0

（単位：％）

(上位5項目の過去との比較)

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和3年度	夏が蒸し暑い 63.8%	観光名所が少ない 48.9%	交通マナーが悪い 41.6%	情報発信が上手くない 30.9%	東京と大阪のはざ間で 存在感がない 25.9%
令和2年度	夏が蒸し暑い 68.3%	観光名所が少ない 51.6%	交通マナーが悪い 42.0%	情報発信が上手くない 33.2%	東京と大阪のはざ間で 存在感がない 26.7%
令和元年度	夏が蒸し暑い 63.6%	観光名所が少ない 53.0%	交通マナーが悪い 45.0%	情報発信が上手くない 28.3%	東京と大阪のはざ間で 存在感がない 27.4%
平成30年度	夏が蒸し暑い 66.6%	観光名所が少ない 54.9%	交通マナーが悪い 43.1%	東京と大阪のはざ間で 存在感がない 31.4%	情報発信が上手くない 26.6%
平成29年度	夏が蒸し暑い 60.1%	観光名所が少ない 56.6%	交通マナーが悪い 45.1%	情報発信が上手くない 29.5%	東京と大阪のはざ間で 存在感がない 29.0%
平成28年度	夏が蒸し暑い 60.6%	観光名所が少ない 53.7%	交通マナーが悪い 45.7%	東京と大阪のはざ間で 存在感がない 25.2%	情報発信が上手くない 20.7%

【上位5項目の経年比較】

令和元年度以降、上位5項目に変化は見られません。

【性別比較】

「夏が蒸し暑い」と答えた人の割合は、女性（69.2%）の方が、男性（57.7%）より、11.5ポイント高くなっています。

一方、「情報発信が上手くない」と答えた人の割合は、男性（35.1%）の方が、女性（27.5%）より、7.6ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「観光名所が少ない」と答えた人の割合は、10歳代（81.3%）の方が、70歳以上（42.0%）より、39.3ポイント高くなっています。

【性・年代別比較】

「交通マナーが悪い」と答えた人の割合は、10歳代男性（77.8%）の方が、60歳代女性（27.4%）より、50.4ポイント高くなっています。

【出生地別比較】

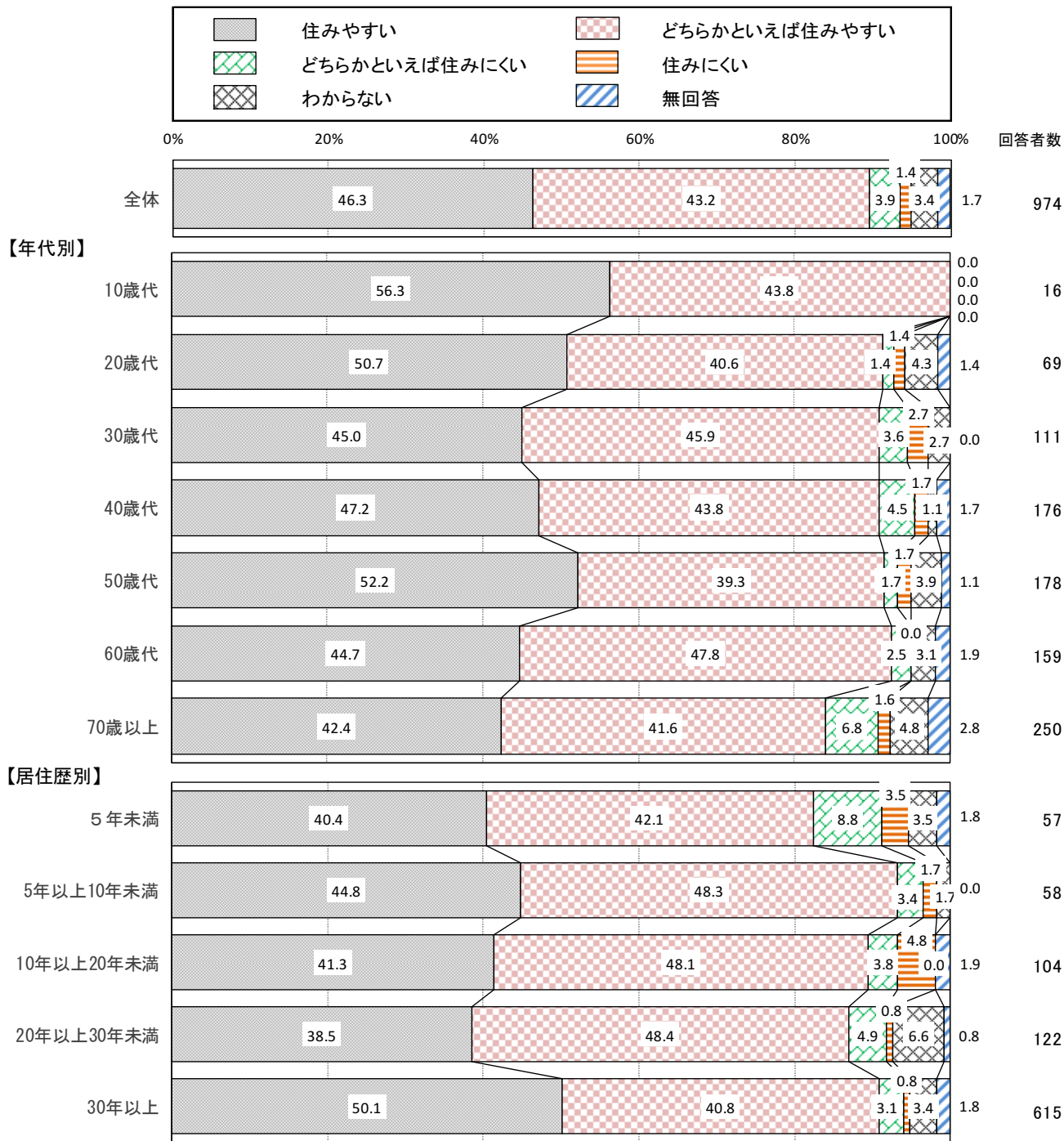
「情報発信が上手くない」と答えた人の割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（36.5%）の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人（26.1%）より、10.4ポイント高くなっています。

一方、「交通マナーが悪い」と答えた人の割合は、名古屋市以外から引っ越してきた人（45.6%）の方が、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（37.6%）より、8.0ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

「交通マナーが悪い」と答えた人の割合は、5年以上10年未満（63.8%）の方が、30年以上（35.1%）より、28.7ポイント高くなっています。

(3) 名古屋の住みやすさ (問3・SA)



◆ 名古屋が「住みやすい」と思うかとたずねたところ、「住みやすい」と答えた人は46.3%、「どちらかといえば住みやすい」と答えた人は43.2%で、あわせると、名古屋が住みやすいと思う人は約9割(89.5%)でした。

一方、「住みにくい」と答えた人は1.4%、「どちらかといえば住みにくい」と答えた人は3.9%で、あわせると、名古屋が住みにくいと思う人は1割未満(5.3%)でした。

【年代別比較】

「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」と答えた人は、10歳代ではいませんでした。

【居住歴別比較】

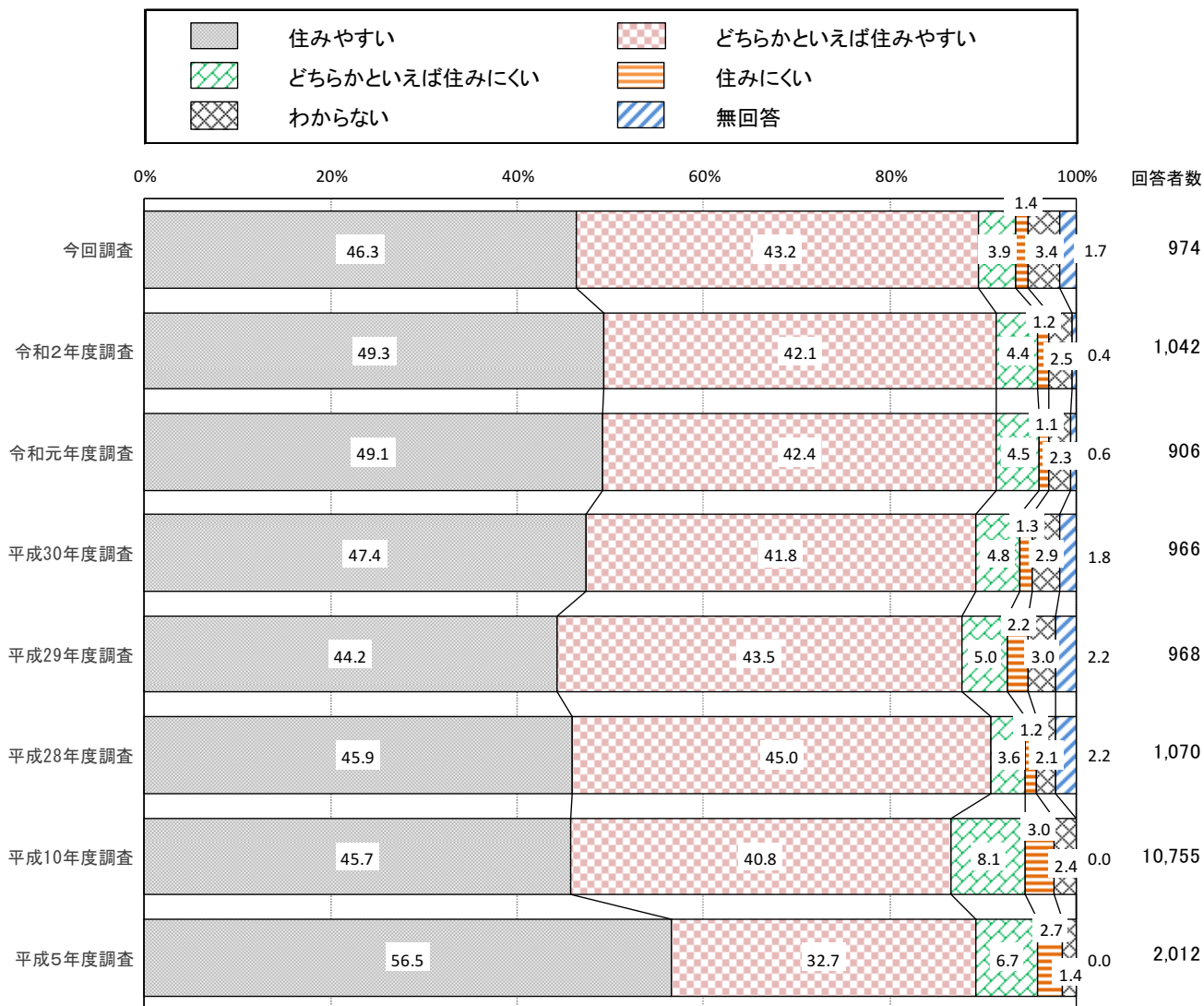
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と答えた人をあわせた割合は、5年以上10年未満(93.1%)の方が、5年未満(82.5%)より、10.6ポイント高くなりました。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 調査方法や標本数が異なるため単純な増減の比較はできませんが、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と答えた人をあわせた割合は 89.5%で、過去の調査から大きな変化は見られませんでした。

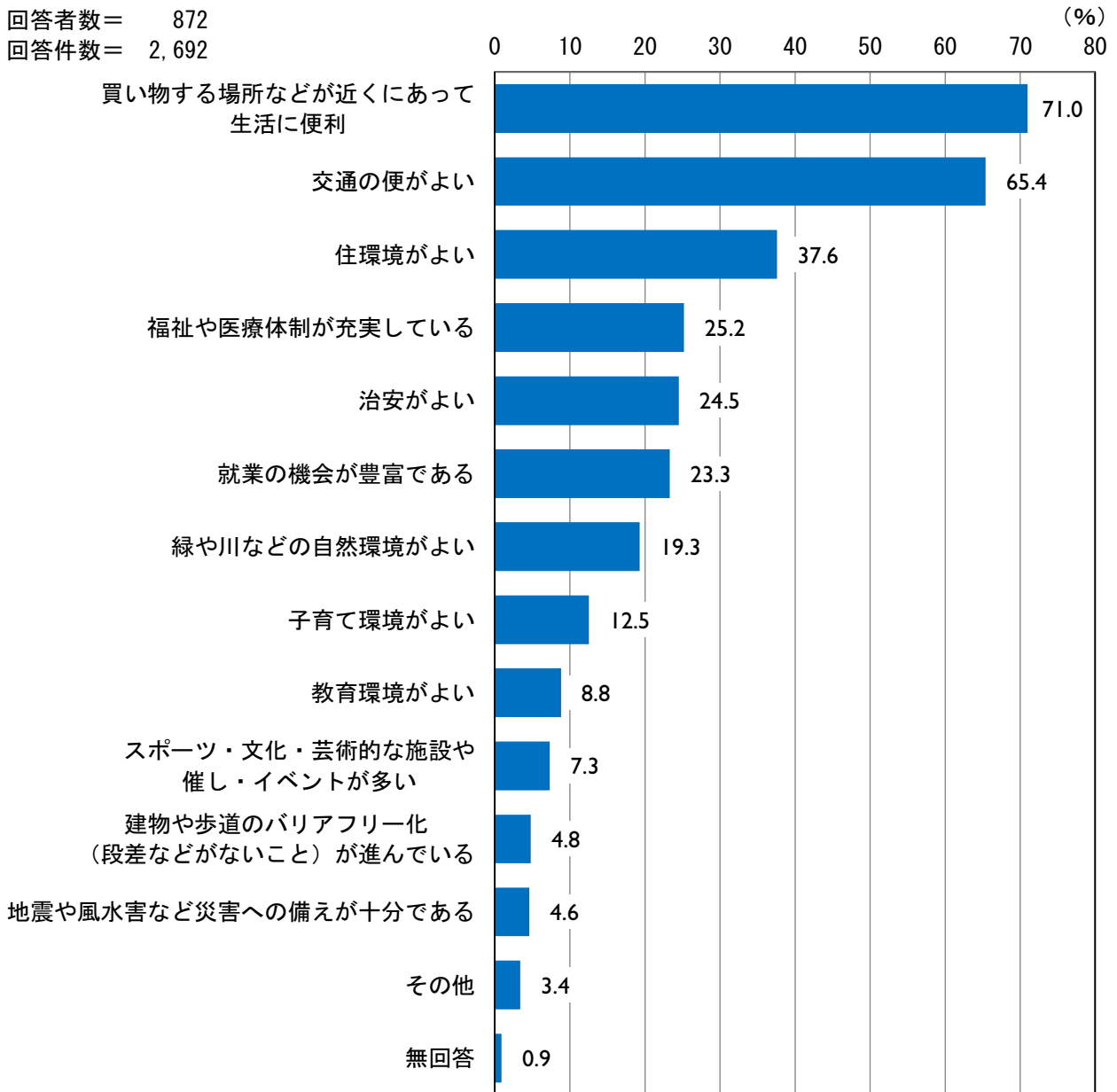
名古屋の住みやすさ



資料：名古屋市「市政世論調査」（平成5年度）
 名古屋市「市民2万人アンケート」（平成10年度）
 名古屋市「市政世論調査」
 （平成28年度、平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度
 （今回の調査））

※各調査の詳細はP. 3参照

(4) 住みやすい点 (問4・MA)



- ◆ 名古屋が住みやすいと答えた人に、その理由をたずねたところ、「買い物する場所などが近くにあって生活に便利」(71.0%)と答えた人が約7割と多く、次いで「交通の便がよい」(65.4%)、「住環境がよい」(37.6%)と続いています。

		買い物する場所などが近くにある	交通の便がよい	住環境がよい	福祉や医療体制が充実している	治安がよい	就業の機会が豊富である	緑や川などの自然環境がよい	子育て環境がよい	教育環境がよい	催し・イベントが多い	スポーツ・文化・芸術的な施設や	(段差などがないこと)が進んでいる	建物や歩道のバリアフリー化	地震や風水害など災害への備えが十分である	その他	無回答	回答者数	回答個数(平均)
全体		71.0	65.4	37.6	25.2	24.5	23.3	19.3	12.5	8.8	7.3	4.8	4.6	3.4	0.9	872	3.1		
性別	男性	71.9	64.2	43.1	23.1	25.8	25.6	20.6	11.0	7.3	7.3	5.8	4.5	1.8	0.8	399	3.1		
	女性	70.4	67.0	33.3	26.5	23.5	21.5	18.3	14.1	10.2	7.2	4.1	4.6	4.6	1.1	460	3.1		
年代別	10歳代	81.3	68.8	37.5	31.3	25.0	18.8	25.0	31.3	12.5	18.8	25.0	6.3	0.0	0.0	16	3.8		
	20歳代	76.2	82.5	38.1	12.7	19.0	23.8	11.1	4.8	11.1	11.1	7.9	3.2	0.0	1.6	63	3.0		
	30歳代	65.3	67.3	34.7	14.9	9.9	27.7	13.9	14.9	5.9	5.0	1.0	5.9	5.9	1.0	101	2.7		
	40歳代	71.3	65.0	35.6	17.5	20.6	25.6	20.0	18.1	6.9	6.3	1.9	3.8	3.1	0.0	160	3.0		
	50歳代	70.6	58.9	44.8	22.7	22.1	20.9	18.4	14.7	12.9	4.3	5.5	3.1	5.5	1.2	163	3.1		
	60歳代	69.4	59.9	38.1	25.2	25.2	23.8	21.8	7.5	8.2	9.5	1.4	2.0	2.7	0.0	147	2.9		
	70歳以上	72.4	68.6	35.2	40.0	37.6	21.0	22.4	10.5	8.1	7.6	8.6	7.6	2.4	1.9	210	3.4		
居住区別	千種区	76.8	62.5	55.4	19.6	23.2	10.7	17.9	5.4	10.7	8.9	5.4	7.1	1.8	1.8	56	3.1		
	東区	78.6	82.1	28.6	21.4	25.0	35.7	17.9	17.9	10.7	21.4	7.1	3.6	0.0	0.0	28	3.5		
	北区	59.1	69.7	33.3	31.8	28.8	18.2	22.7	16.7	10.6	6.1	6.1	6.1	4.5	0.0	66	3.1		
	西区	76.2	66.7	27.0	23.8	14.3	27.0	14.3	14.3	9.5	7.9	4.8	6.3	3.2	1.6	63	3.0		
	中村区	67.4	82.6	19.6	30.4	23.9	19.6	8.7	10.9	6.5	6.5	4.3	8.7	6.5	0.0	46	3.0		
	中区	75.9	72.4	37.9	17.2	24.1	20.7	3.4	13.8	10.3	3.4	6.9	3.4	3.4	0.0	29	2.9		
	昭和区	55.8	69.8	46.5	25.6	25.6	27.9	14.0	9.3	14.0	7.0	9.3	4.7	7.0	2.3	43	3.2		
	瑞穂区	68.9	73.3	51.1	24.4	31.1	24.4	26.7	13.3	6.7	11.1	4.4	4.4	2.2	0.0	45	3.4		
	熱田区	73.7	94.7	26.3	26.3	21.1	10.5	15.8	5.3	10.5	15.8	10.5	0.0	0.0	0.0	19	3.1		
	中川区	77.5	65.2	24.7	27.0	20.2	18.0	11.2	9.0	5.6	6.7	3.4	2.2	2.2	1.1	89	2.7		
	港区	78.3	60.9	30.4	37.0	10.9	32.6	13.0	0.0	0.0	6.5	2.2	2.2	2.2	0.0	46	2.8		
	南区	74.5	66.7	33.3	29.4	23.5	25.5	15.7	9.8	5.9	2.0	2.0	3.9	5.9	0.0	51	3.0		
	守山区	77.3	59.1	39.4	25.8	31.8	36.4	37.9	16.7	9.1	4.5	9.1	7.6	3.0	0.0	66	3.6		
	緑区	76.8	48.4	47.4	22.1	27.4	29.5	21.1	17.9	9.5	5.3	2.1	2.1	3.2	2.1	95	3.1		
	名東区	56.6	69.8	39.6	11.3	24.5	17.0	30.2	9.4	13.2	5.7	1.9	3.8	1.9	1.9	53	2.9		
	天白区	62.9	56.5	50.0	24.2	35.5	14.5	25.8	24.2	9.7	9.7	6.5	4.8	4.8	1.6	62	3.3		
地出生別	名古屋市	68.0	66.7	35.2	24.9	28.9	24.4	15.9	13.4	9.5	5.4	4.6	3.9	4.6	0.7	409	3.1		
	名古屋市以外	74.2	64.8	39.9	24.9	21.1	22.6	22.6	11.9	8.3	9.0	4.9	5.2	2.2	0.7	446	3.1		
居住歴別	5年未満	80.9	74.5	36.2	8.5	0.0	17.0	19.1	8.5	10.6	6.4	2.1	4.3	2.1	0.0	47	2.7		
	5年以上10年未満	74.1	61.1	48.1	16.7	16.7	25.9	22.2	20.4	16.7	9.3	3.7	5.6	0.0	0.0	54	3.2		
	10年以上20年未満	73.1	65.6	41.9	19.4	17.2	22.6	19.4	17.2	6.5	9.7	9.7	5.4	2.2	1.1	93	3.1		
	20年以上30年未満	71.7	67.0	39.6	17.9	21.7	24.5	14.2	10.4	10.4	5.7	2.8	4.7	1.9	0.9	106	2.9		
	30年以上	69.6	65.1	35.6	29.3	29.3	23.6	20.0	12.0	8.1	7.0	4.8	4.3	4.3	1.1	559	3.1		

(単位：%)

(上位5項目の過去との比較)

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和3年度	買い物する場所などが近くにある生活に便利 71.0%	交通の便がよい 65.4%	住環境がよい 37.6%	福祉や医療体制が充実している 25.2%	治安がよい 24.5%
令和2年度	買い物する場所などが近くにある生活に便利 72.4%	交通の便がよい 65.7%	住環境がよい 41.0%	就業の機会が豊富である 26.9%	治安がよい 24.2%
令和元年度	買い物する場所などが近くにある生活に便利 66.7%	交通の便がよい 65.9%	住環境がよい 39.0%	就業の機会が豊富である 26.7%	治安がよい 25.1%
平成30年度	買い物する場所などが近くにある生活に便利 69.1%	交通の便がよい 65.1%	住環境がよい 38.9%	治安がよい 28.1%	福祉や医療体制が充実している 25.3%
平成29年度	交通の便がよい 66.9%	買い物する場所などが近くにある生活に便利 66.3%	住環境がよい 39.0%	治安がよい 28.0%	就業の機会が豊富である 25.2%
平成28年度	買い物する場所などが近くにある生活に便利 70.1%	交通の便がよい 65.3%	住環境がよい 38.1%	治安がよい 27.0%	就業の機会が豊富である 25.3%

【上位5項目の経年比較】

上位5項目のうち、第1位から第3位、第5位は、令和元年度から変化ありません。

上位5項目外であった「福祉や医療体制が充実している」が今回の調査で第4位になり、前回第4位であった「就業の機会が豊富である」は、今回の調査で上位5項目外になっています。

【性別比較】

「住環境がよい」と答えた人の割合は、男性(43.1%)の方が、女性(33.3%)より、9.8ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「治安がよい」と答えた人の割合は、70歳以上(37.6%)が最も高く、最も低い30歳代(9.9%)より、27.7ポイント高くなっています。

【居住区別比較】

「交通の便がよい」と答えた人の割合は、熱田区(94.7%)が最も高く、最も低い緑区(48.4%)より、46.3ポイント高くなっています。

【出生地別比較】

「治安がよい」と答えた人の割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人(28.9%)の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人(21.1%)より、7.8ポイント高くなっています。

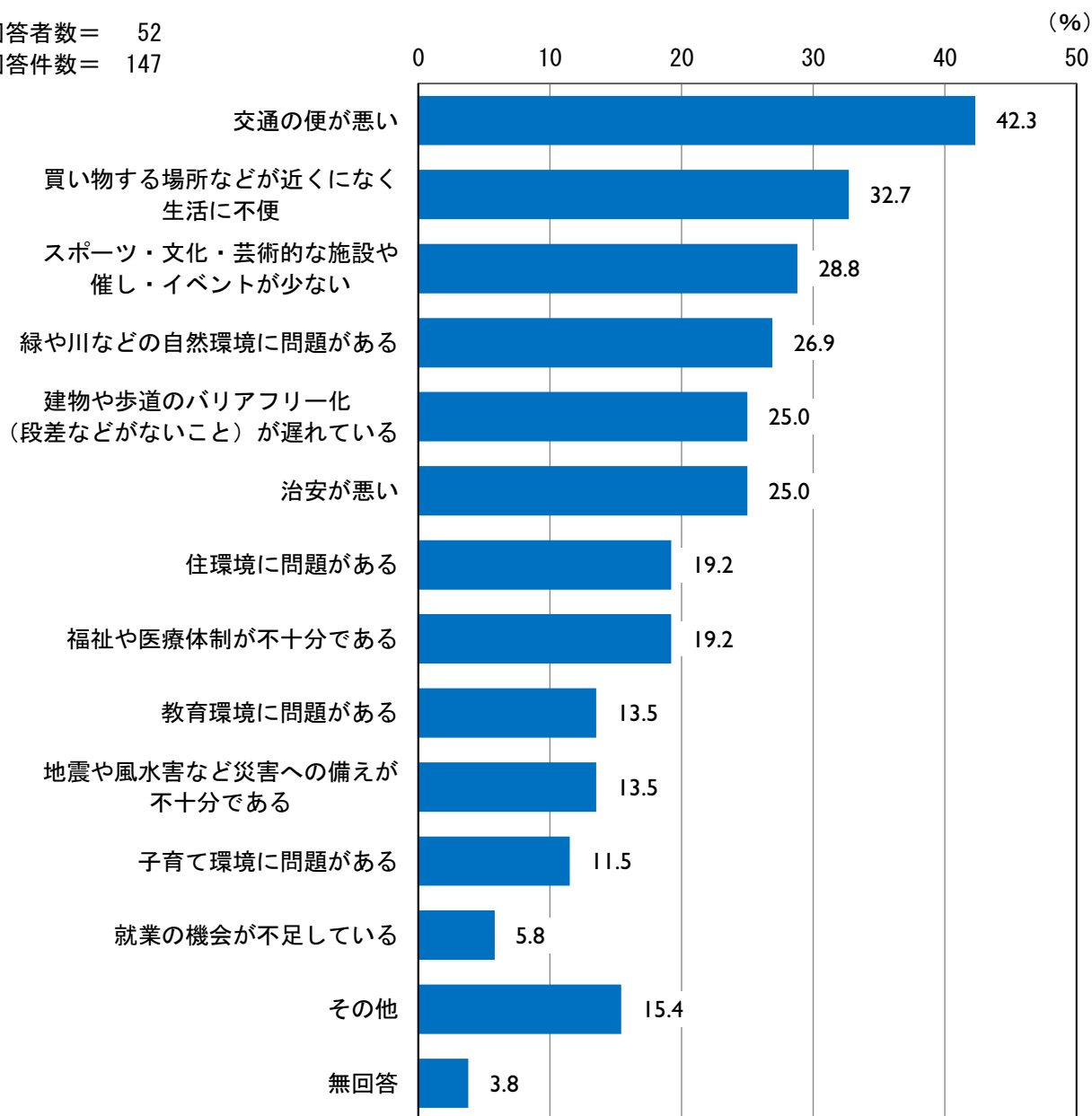
【居住歴別比較】

「福祉や医療体制が充実している」と答えた人の割合は、30年以上(29.3%)が最も高く、最も低い5年未満(8.5%)より、20.8ポイント高くなっています。

一方、「買い物する場所などが近くにある生活に便利」と答えた人の割合は、居住歴が長くなるほど低くなる傾向があり、5年未満(80.9%)が最も高く、最も低い30年以上(69.6%)より、11.3ポイント高くなっています。

(5) 住みにくい点 (問5・MA)

回答者数= 52
回答件数= 147



◆ 名古屋が住みにくいと答えた人に、その理由をたずねたところ、「交通の便が悪い」(42.3%)が約4割と多く、次いで「買い物する場所などが近づく生活に不便」(32.7%)、「スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない」(28.8%)、「緑や川などの自然環境に問題がある」(26.9%)、「建物や歩道のバリアフリー化(段差などが無いこと)が遅れている」(25.0%)、「治安が悪い」(25.0%)と続いています。

		交通の便が悪い	買い物する場所などが近くに なく	スポーツ・文化・芸術的な施設や 催し・イベントが少ない	緑や川などの自然環境に問題がある	建物や歩道のバリアフリー化 (段差などがないこと)が遅れている	治安が悪い	住環境に問題がある	福祉や医療体制が不十分である	教育環境に問題がある	地震や風水害など災害への備えが 不十分である	子育て環境に問題がある	就業の機会が不足している	その他	無回答	回答者数	回答個数(平均)	
全体		42.3	32.7	28.8	26.9	25.0	25.0	19.2	19.2	13.5	13.5	11.5	5.8	15.4	3.8	52	2.8	
性別	男性	40.9	22.7	13.6	27.3	27.3	27.3	27.3	31.8	22.7	18.2	9.1	4.5	18.2	9.1	22	3.0	
	女性	41.4	41.4	41.4	27.6	20.7	24.1	13.8	10.3	6.9	10.3	13.8	6.9	13.8	0.0	29	2.7	
年代別	10歳代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	
	20歳代	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	2	3.5	
	30歳代	28.6	42.9	28.6	14.3	0.0	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	7	2.7	
	40歳代	45.5	18.2	36.4	27.3	36.4	36.4	9.1	9.1	18.2	0.0	27.3	9.1	18.2	0.0	11	2.9	
	50歳代	50.0	50.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	6	2.7	
	60歳代	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4	2.0	
	70歳以上	33.3	38.1	23.8	33.3	28.6	23.8	33.3	38.1	14.3	14.3	4.8	0.0	14.3	0.0	21	3.0	
居住区別	千種区	66.7	0.0	33.3	66.7	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	3	3.0	
	東区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	
	北区	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4	1.8	
	西区	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	2.0	
	中村区	0.0	0.0	50.0	25.0	75.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	4	3.3	
	中区	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	1	7.0	
	昭和区	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	5	2.0	
	瑞穂区	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	3	2.3
	熱田区	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	1.0
	中川区	45.5	54.5	36.4	36.4	0.0	54.5	36.4	18.2	0.0	18.2	9.1	9.1	18.2	0.0	11	3.4	
	港区	33.3	100.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	3	3.7	
	南区	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2	1.5	
	守山区	57.1	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6	14.3	42.9	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	7	3.3	
	緑区	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2	3.0	
	名東区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	
	天白区	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3	2.3	
地出生別	名古屋市	38.5	30.8	23.1	46.2	38.5	30.8	46.2	46.2	38.5	30.8	15.4	15.4	23.1	7.7	13	4.3	
	名古屋市以外	42.1	34.2	31.6	21.1	18.4	23.7	10.5	10.5	5.3	7.9	10.5	2.6	13.2	2.6	38	2.3	
居住歴別	5年未満	42.9	28.6	42.9	14.3	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	42.9	0.0	7	2.9	
	5年以上10年未満	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	3	3.0	
	10年以上20年未満	22.2	33.3	33.3	44.4	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	9	2.1	
	20年以上30年未満	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	7	2.1	
	30年以上	41.7	41.7	29.2	33.3	33.3	25.0	25.0	33.3	16.7	20.8	8.3	4.2	12.5	0.0	24	3.3	

(単位：%)

(上位5項目の過去との比較)

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和3年度	交通の便が悪い 42.3%	買い物する場所などが 近づく生活に不便 32.7%	スポーツ・文化・芸術的な 施設や催し・イベントが 少ない 28.8%	緑や川などの 自然環境に問題がある 26.9%	建物や歩道のバリアフリー化 (段差などがないこと)が 遅れている 25.0%
令和2年度	交通の便が悪い 37.3%	建物や歩道のバリアフリー化 (段差などがないこと)が 遅れている 30.5%	治安が悪い 28.8%	/	住環境に問題がある 22.0%
			スポーツ・文化・芸術的な 施設や催し・イベントが 少ない 28.8%		買い物する場所などが 近づく生活に不便 22.0%
令和元年度	交通の便が悪い 39.2%	治安が悪い 31.4%	住環境に問題がある 29.4%	福祉や医療体制が 不十分である 25.5%	/
				建物や歩道のバリアフリー化 (段差などがないこと)が 遅れている 25.5%	
平成30年度	交通の便が悪い 42.4%	緑や川などの 自然環境に問題がある 35.6%	治安が悪い 30.5%	建物や歩道のバリアフリー化 (段差などがないこと)が 遅れている 25.4%	福祉や医療体制が 不十分である 23.7%
平成29年度	交通の便が悪い 49.3%	建物や歩道のバリアフリー化 (段差などがないこと)が 遅れている 36.2%	買い物する場所などが 近づく生活に不便 34.8%	治安が悪い 29.0%	地震や風水害など災害 への備えが不十分である 23.7%
平成28年度	交通の便が悪い 44.2%	住環境に問題がある 32.7%	/	買い物する場所などが 近づく生活に不便 28.8%	地震や風水害など災害 への備えが不十分である 27.5%
		治安が悪い 32.7%			建物や歩道のバリアフリー化 (段差などがないこと)が 遅れている 23.1%

【上位5項目の経年比較】

過去の調査と同様、「交通の便が悪い」が第1位となっており、前回第5位の「買い物する場所などが近づく生活に不便」は第2位、前回上位5項目外であった「緑や川などの自然環境に問題がある」が第4位、前回第3位の「治安が悪い」と前回第2位であった「建物や歩道のバリアフリー化(段差などがないこと)が遅れている」が第5位になっています。

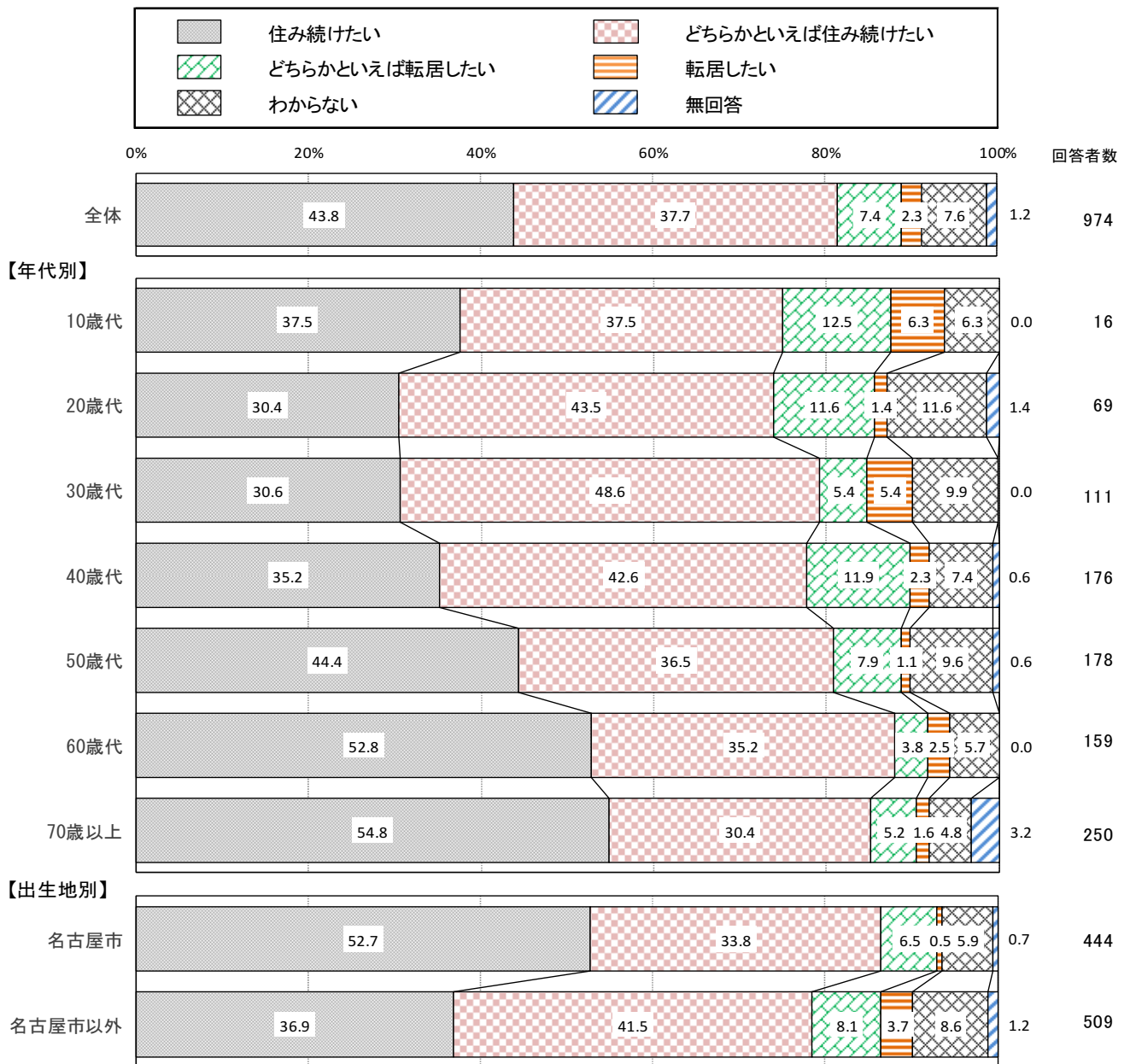
【性別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない」と答えた人の割合は、女性(41.4%)の方が、男性(13.6%)より、27.8ポイント高くなっています。

【出生地別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「緑や川などの自然環境に問題がある」と答えた人の割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人(46.2%)の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人(21.1%)より、25.1ポイント高くなっています。

(6) 今の地域での居留意向 (問6・SA)



◆ 今の地域にずっと住みたいかとたずねたところ、「住みたい」と答えた人は43.8%、「どちらかといえば住みたい」と答えた人は37.7%で、あわせると、今の地域に住み続けた人は約8割(81.5%)でした。

一方、「転居したい」と答えた人は2.3%、「どちらかといえば転居したい」と答えた人は7.4%で、あわせると、転居したい人は約1割(9.7%)でした。

【年代別比較】

「住みたい」と「どちらかといえば住みたい」と答えた人をあわせた割合は、60歳代(88.0%)の方が、20歳代(73.9%)より、14.1ポイント高くなっています。

【出生地別比較】

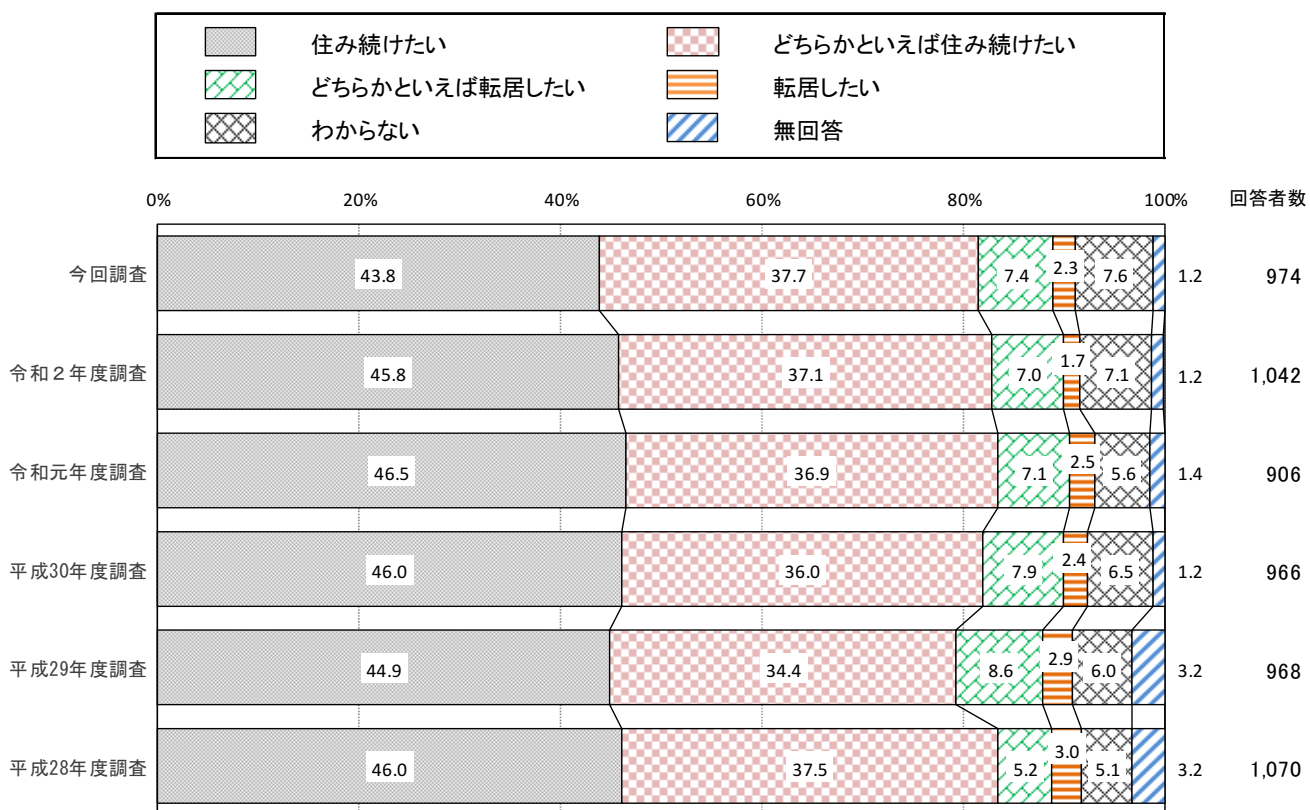
「住みたい」と「どちらかといえば住みたい」と答えた人をあわせた割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる(86.5%)の方が、名古屋市外から引っ越してきた(78.4%)より、8.1ポイント高くなっています。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 調査方法や標本数が異なるため単純な増減の比較はできませんが、今の地域に「住みたい」と「どちらかといえば住みたい」と答えた人をあわせた割合は 81.5%で、過去の調査から大きな変化は見られませんでした。

今の地域での居留意向

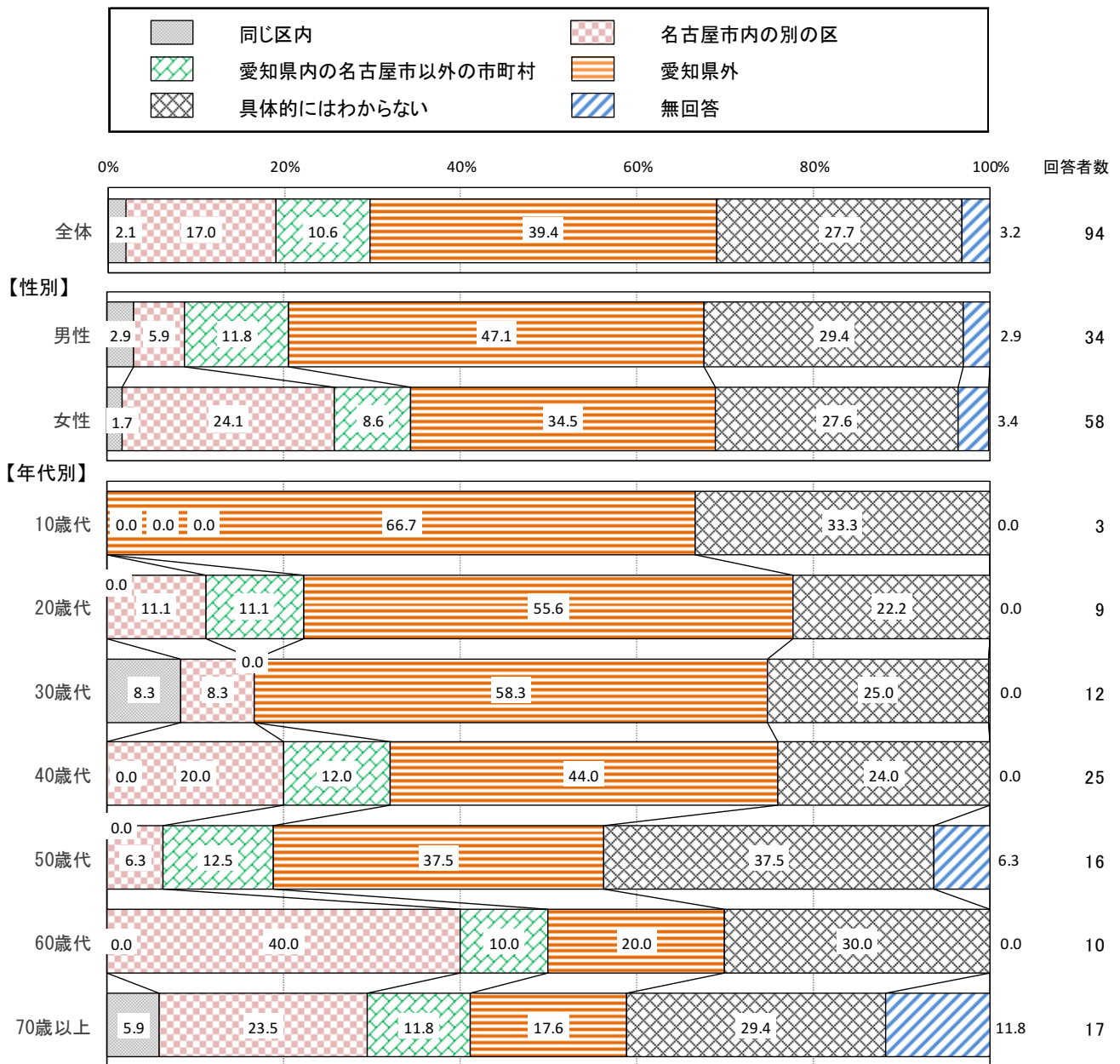


資料：名古屋市「市政世論調査」

(平成 28 年度、平成 29 年度、平成 30 年度、令和元年度、令和 2 年度、令和 3 年度
(今回の調査))

※各調査の詳細については、P. 3 参照

(7) 転居したい地域 (問7・SA)



◆ この地域から転居したいと答えた人に、どこに転居したいかとたずねたところ、「愛知県外」(39.4%)と答えた人が約4割と多く、次いで「具体的にはわからない」(27.7%)、「名古屋市内の別の区」(17.0%)と続いています。

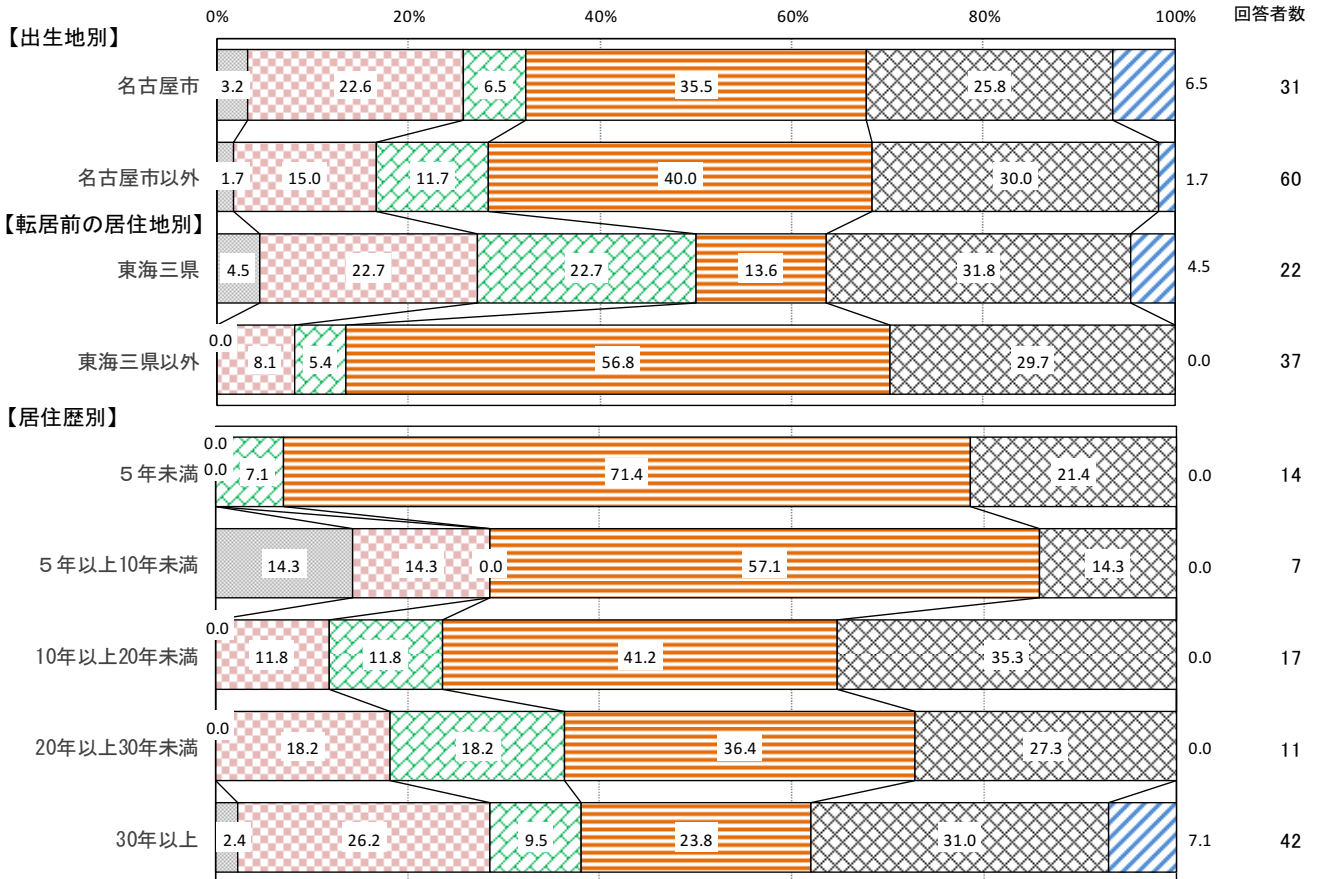
【性別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、転居したいところを「名古屋市内の別の区」と答えた人は、女性(24.1%)の方が、男性(5.9%)より、18.2ポイント高くなっています。

【年代別比較】

転居したいところを「同じ区内」、「名古屋市内の別の区」、「愛知県内の名古屋市以外の市町村」と答えた人は、10歳代ではいませんでした。

また、標本数が少ないため比較は難しいですが、転居したいところを「愛知県外」と答えた人の割合は、10歳代(66.7%)の方が、70歳以上(17.6%)より、49.1ポイント高くなりました。



【出生地別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、転居したいところを「名古屋市内の別の区」と答えた人の割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（22.6%）の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人（15.0%）より、7.6ポイント高くなっています。

転居前の居住地別比較では、「愛知県外」と答えた人の割合は、東海三県以外から引っ越してきた人（56.8%）の方が、東海三県（愛知・岐阜・三重）から引っ越してきた人（13.6%）より、43.2ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

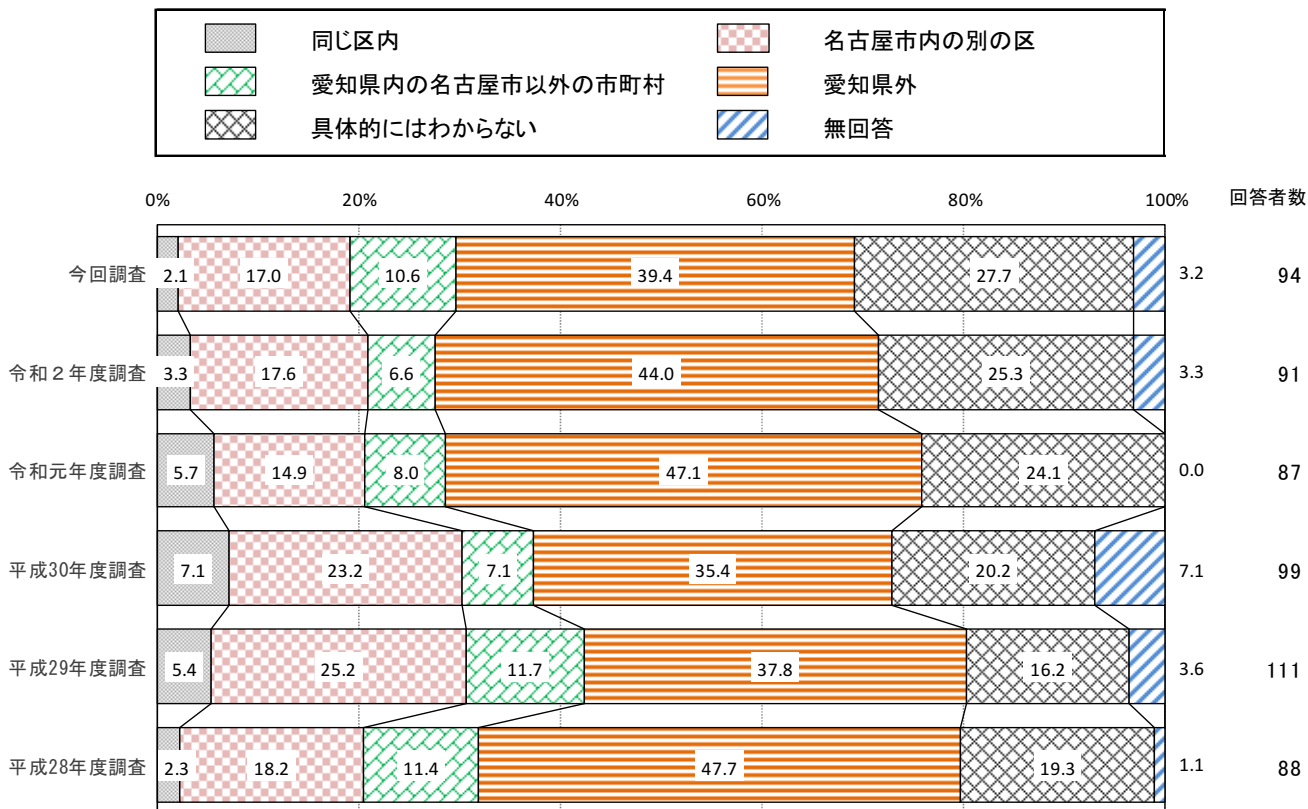
標本数が少ないため比較は難しいですが、転居したいところを「愛知県外」と答えた人の割合は、5年未満（71.4%）の方が、30年以上（23.8%）より、47.6ポイント高くなっています。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

◆ 標本数が少ないため比較は難しいですが、転居したいところを「愛知県外」と答えた人の割合は、令和元年度から減少傾向にあります。

転居したい地域

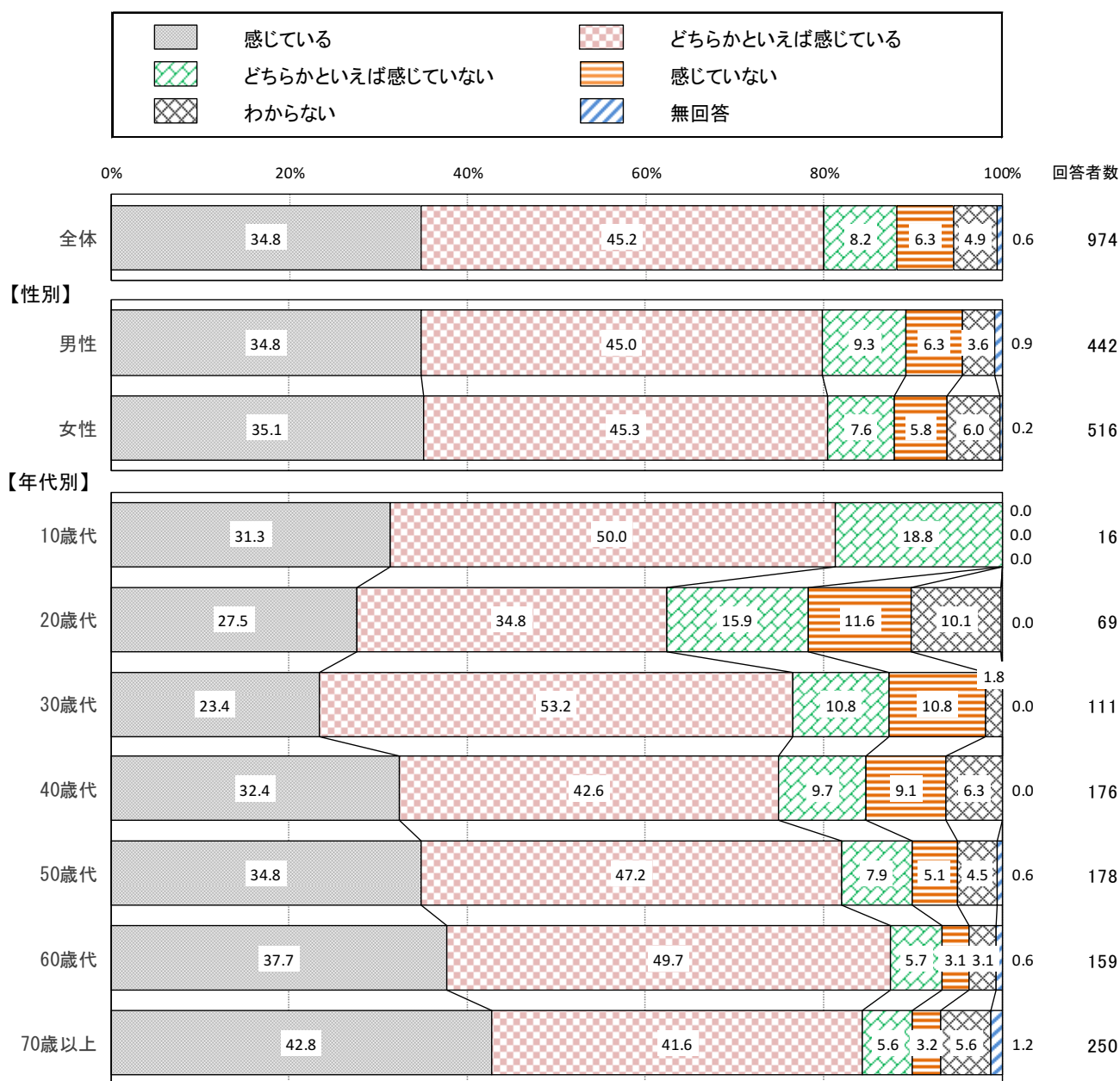


資料：名古屋市「市政世論調査」

(平成28年度、平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度
(今回の調査))

※各調査の詳細については、P. 3 参照

(8) 名古屋への愛着度 (問8・SA)



◆ 名古屋に「自分のまち」としての「愛着」を感じているかとたずねたところ、「感じている」と答えた人は34.8%、「どちらかといえば感じている」と答えた人は45.2%で、あわせると、名古屋に愛着を感じている人は約8割(80.0%)でした。

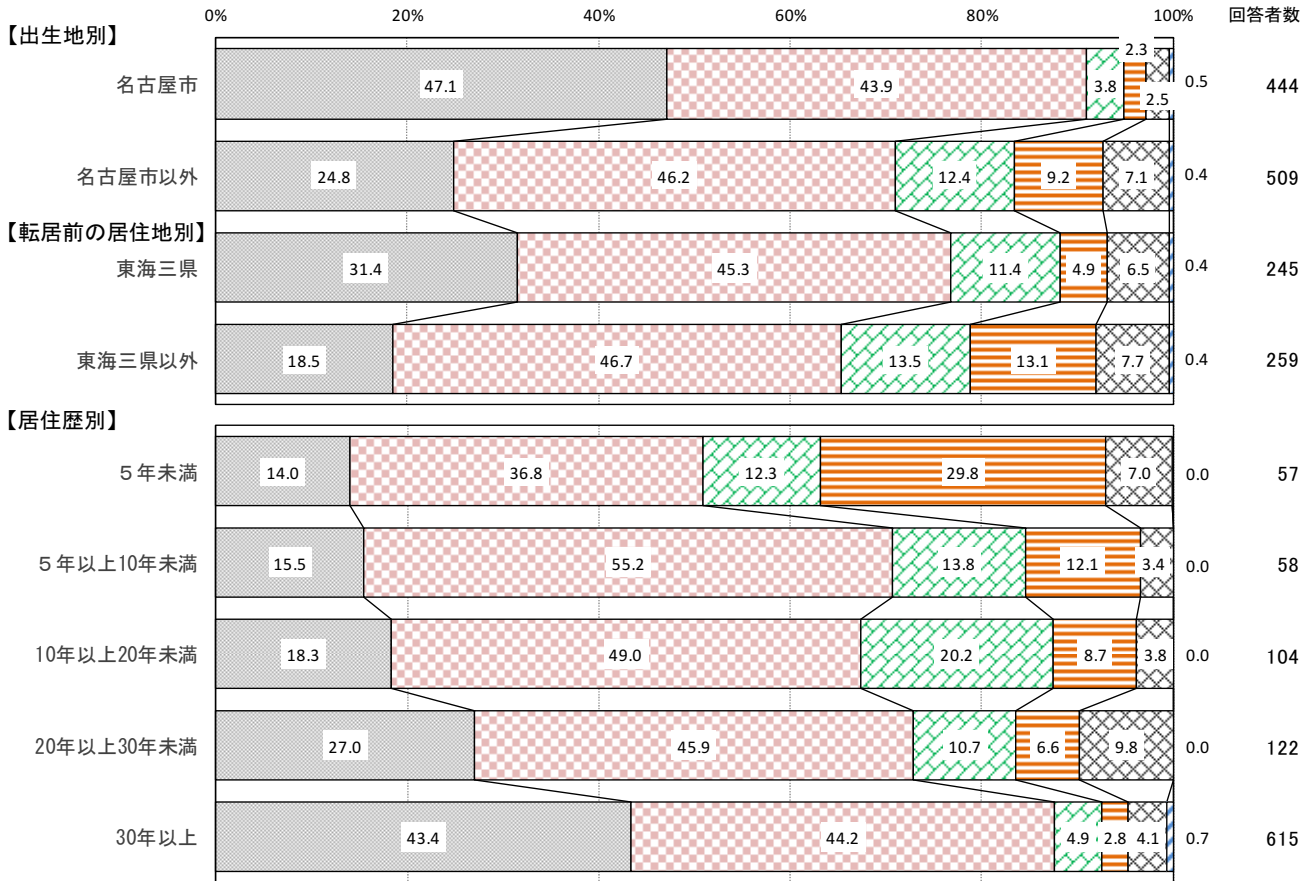
一方、「感じていない」と答えた人は6.3%、「どちらかといえば感じていない」と答えた人は8.2%で、あわせると、名古屋に愛着を感じていない人は1割以上(14.5%)でした。

【性別比較】

大きな差は見られませんでした。

【年代別比較】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は、60歳代(87.4%)の方が、20歳代(62.3%)より、25.1ポイント高くなっています。



【出生地別比較】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人(91.0%)の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人(71.0%)より、20.0ポイント高くなっています。

転居前の居住地別比較では、東海三県(愛知・岐阜・三重)から引っ越してきた人(76.7%)の方が、東海三県以外から引っ越してきた人(65.2%)より、11.5ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

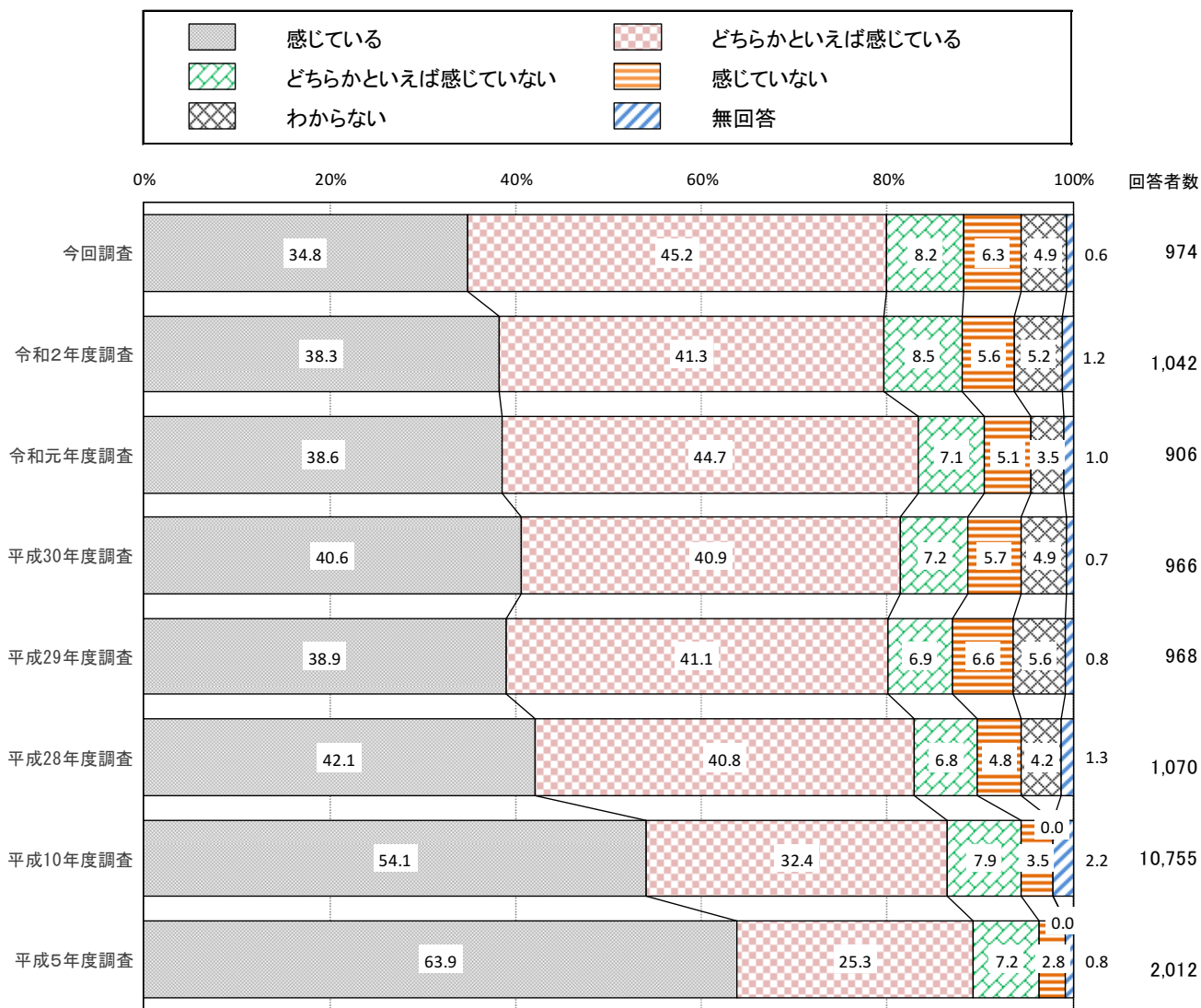
愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は、30年以上(87.6%)の方が、5年未満(50.8%)より、36.8ポイント高くなっています。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 調査方法や標本数が異なるため単純な増減の比較はできませんが、愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は80.0%で、過去の調査から大きな変化は見られませんでした。

名古屋への愛着度



資料：名古屋市「市政世論調査」（平成5年度）

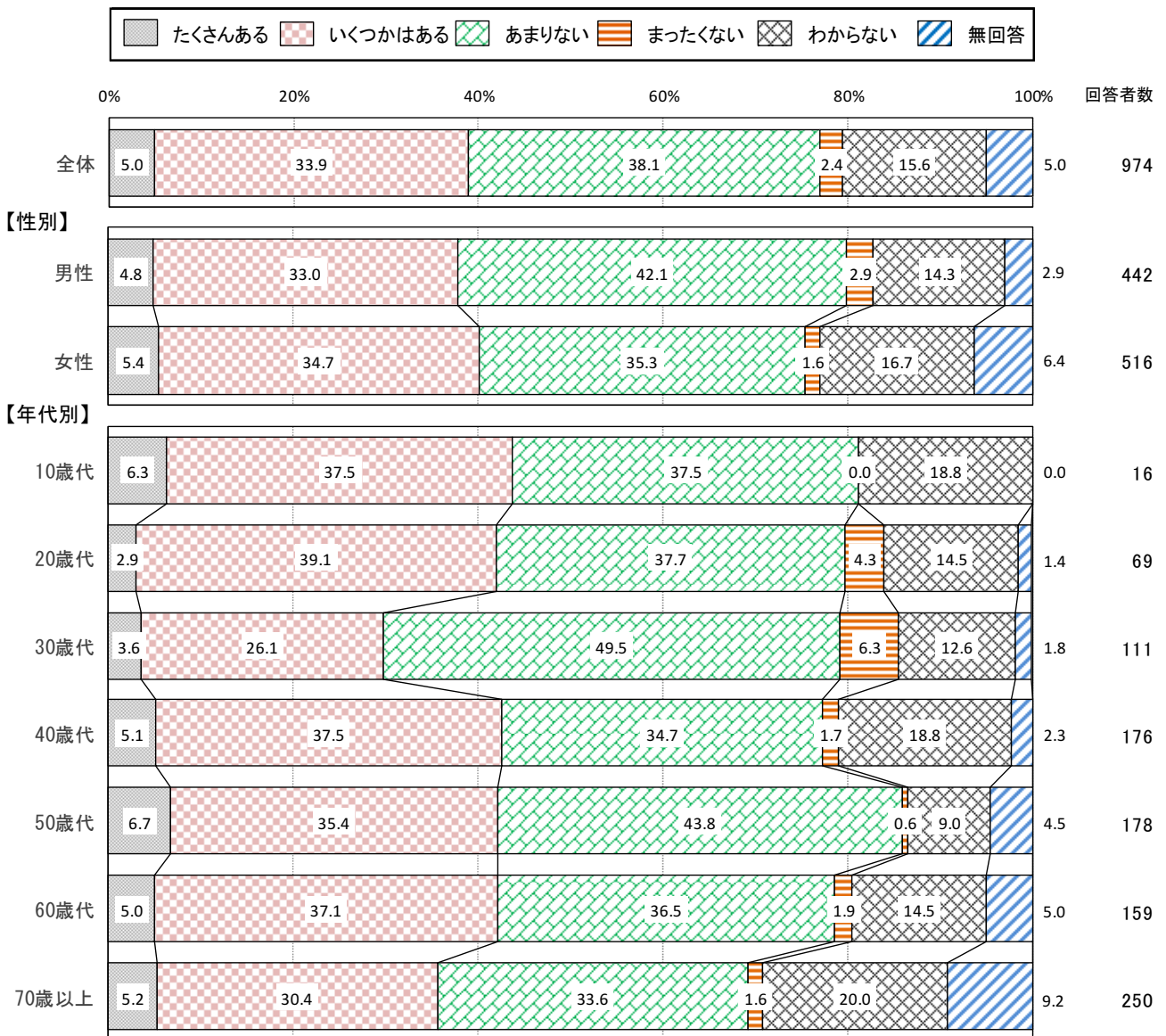
名古屋市「市民2万人アンケート」（平成10年度）

名古屋市「市政世論調査」

（平成28年度、平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度
（今回の調査））

※各調査の詳細についてはP. 3 参照

(9) 名古屋の自慢できること (問9・S A)



◆ 名古屋によそのまちと比べて自慢できることがあるかとたずねたところ、「たくさんある」と答えた人は5.0%、「いくつかはある」と答えた人は33.9%で、あわせると、名古屋に自慢できることがある人は約4割(38.9%)でした。

また、「まったくない」と答えた人は2.4%、「あまりない」と答えた人は38.1%で、あわせると、名古屋に自慢できない人も約4割(40.5%)でした。

【性別比較】

名古屋に自慢できることが「あまりない」と「まったくない」と答えた人をあわせた割合は、男性(45.0%)の方が、女性(36.9%)より、8.1ポイント高くなっています。

【年代別比較】

名古屋に自慢できることが「たくさんある」と「いくつかはある」と答えた人をあわせた割合は、10歳代(43.8%)の方が、30歳代(29.7%)より、14.1ポイント高くなっています。

【具体的な記入の抜粋】

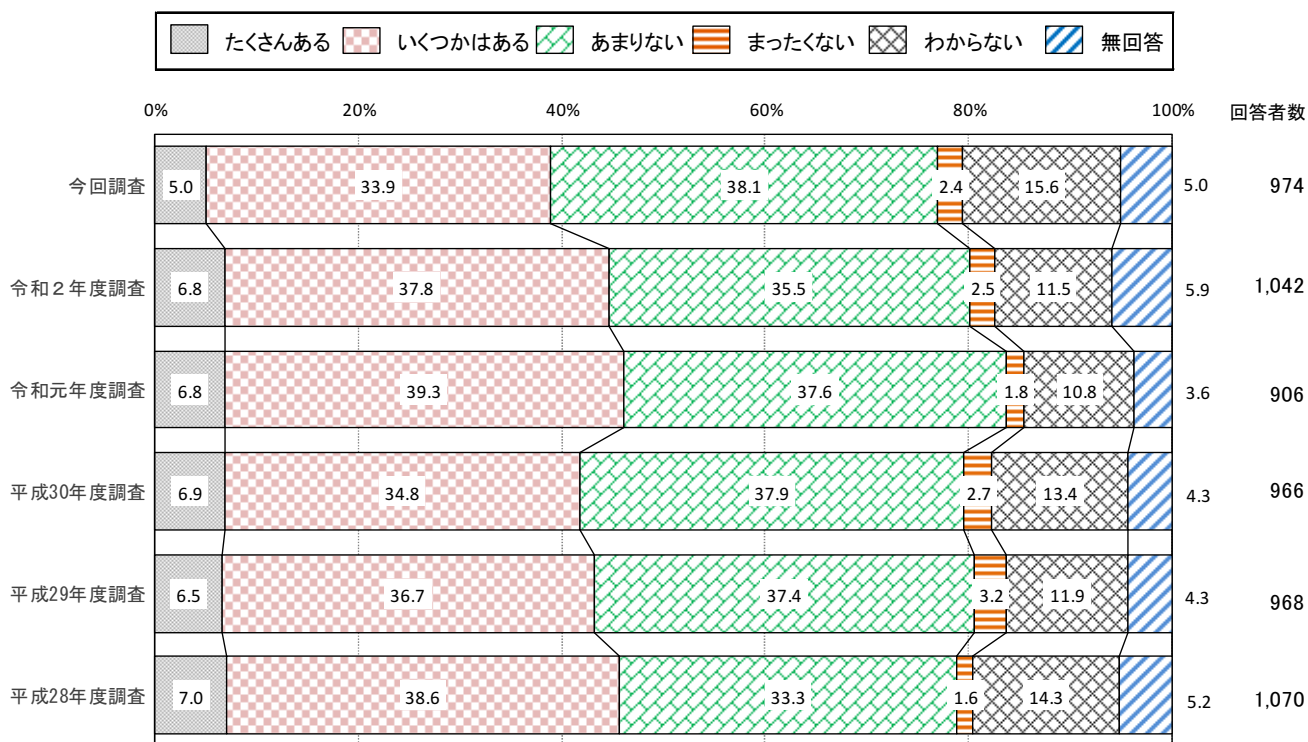
名古屋に自慢できることが「たくさんある」と「いくつかはある」と答えた人に具体的に記入していただいた名古屋の自慢できることの主なものは「程々の都会で住みやすい」、「交通の便がよく、道路が広くて整備されている」、「名古屋名物が美味しい」などでした。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

◆ 調査方法や標本数が異なるため単純な増減の比較はできませんが、名古屋に自慢できることが「たくさんある」と「いくつかはある」と答えた人をあわせた割合は約4割（38.9%）となり、前回（44.6%）から5.7ポイント低くなっています。

名古屋の自慢できること

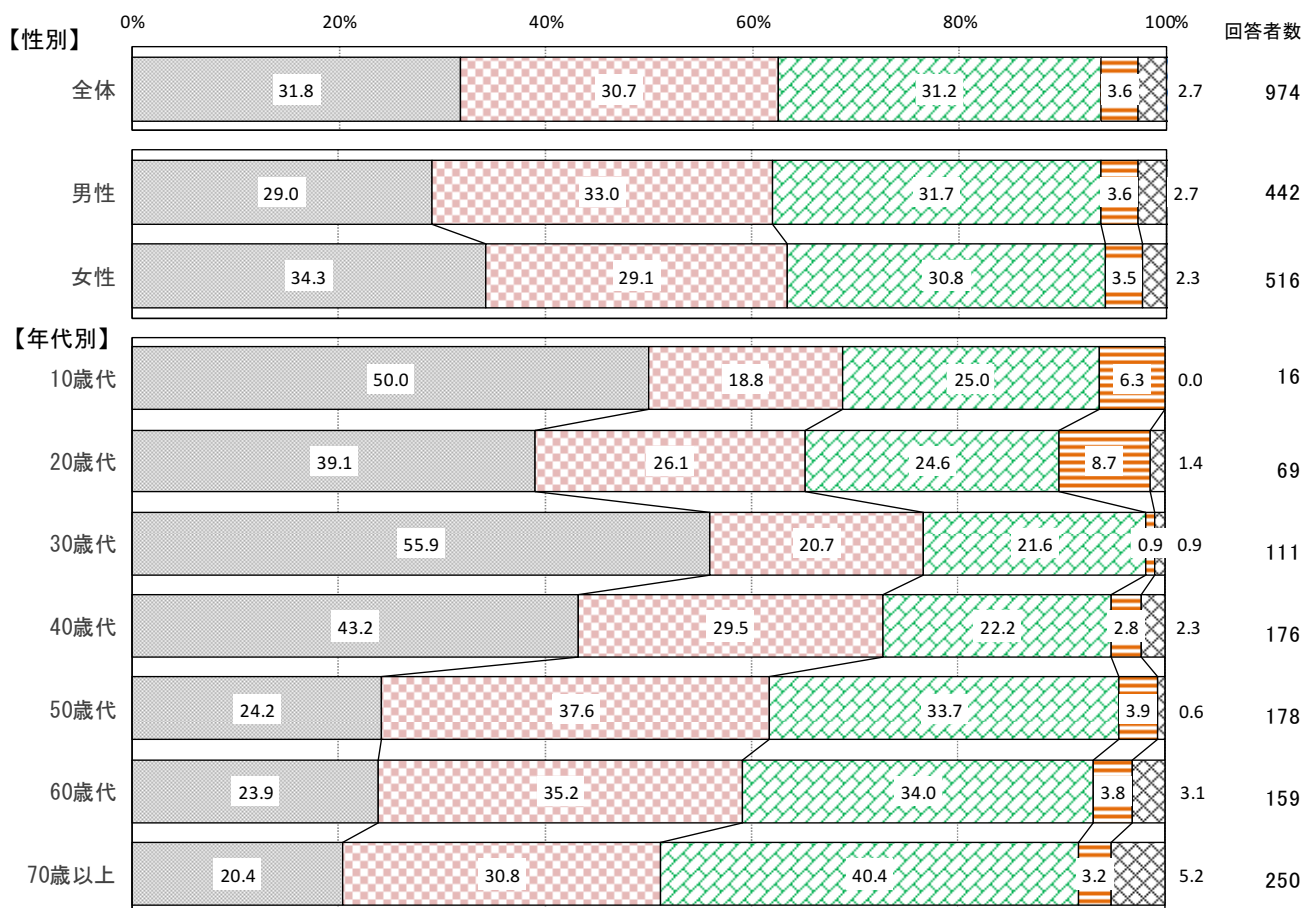
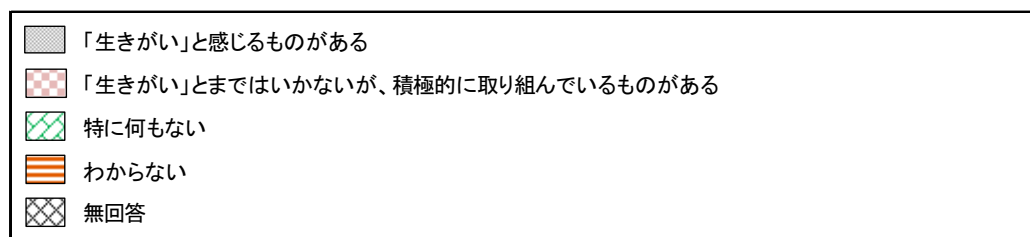


資料：名古屋市「市政世論調査」

（平成28年度、平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度
（今回の調査））

※各調査の詳細については、P. 3 参照

(10) 「生きがい」と感じるもの (問 10・S A)



◆ 「生きがい」と感じるものがあるかとたずねたところ、「生きがいを感じるものがある」と答えた人は31.8%、「生きがいとまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある」と答えた人は30.7%となり、ともに3割台でした。

一方、「特に何もなし」と答えた人は31.2%でした。

【性別比較】

「生きがいを感じるものがある」と答えた人は、女性（34.3%）の方が、男性（29.0%）より、5.3ポイント高くなっています。

【年代別比較】

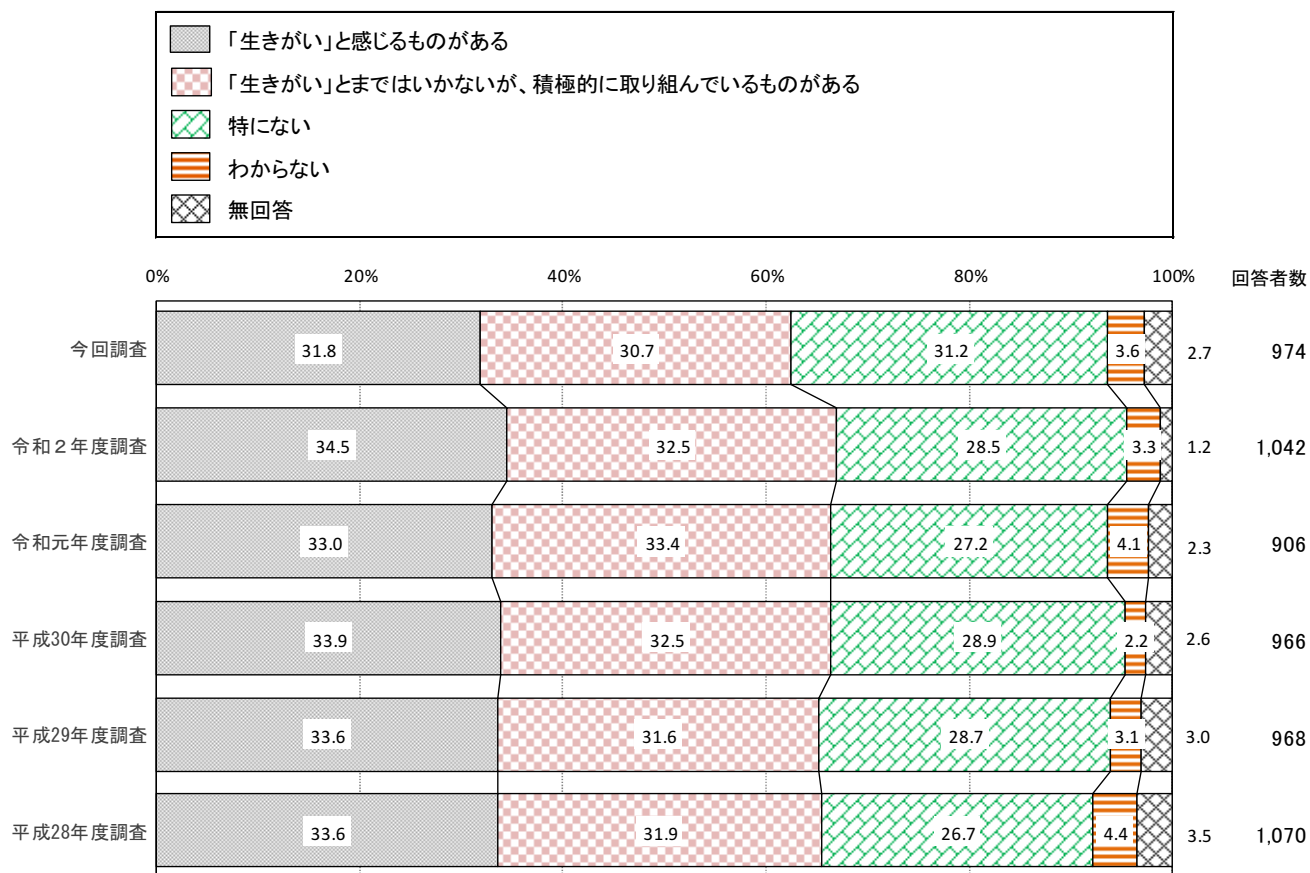
「生きがいと感じているものがある」と「生きがいとまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある」と答えた人をあわせた割合は、30歳代（76.6%）の方が、70歳以上（51.2%）より、25.4ポイント高くなっています。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 調査方法や標本数が異なるため単純な増減の比較はできませんが、「生きがいと感じているものがある」と「生きがいとまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある」と答えた人をあわせた割合は、過去の調査から大きな変化は見られませんでした。

「生きがい」と感じるもの

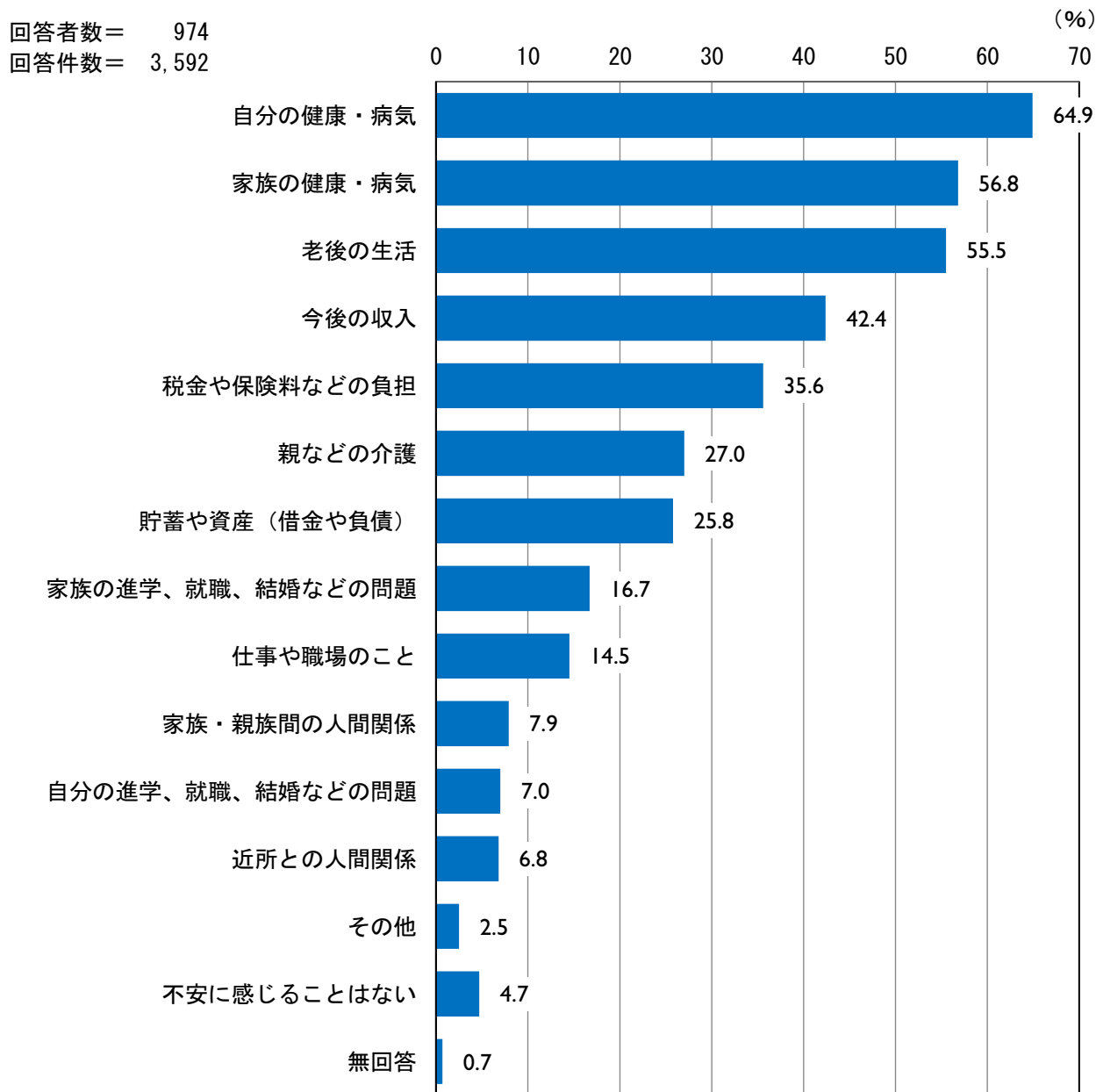


資料：名古屋市「市政世論調査」

(平成28年度、平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度
(今回の調査))

※各調査の詳細については、P. 3 参照

(11) 今後の生活で不安に感じること（問11・MA）



- ◆ 今後の生活を考えたとき不安に感じることをたずねたところ、「自分の健康・病気」（64.9%）と答えた人が6割以上で最も多く、次いで「家族の健康・病気」（56.8%）、「老後の生活」（55.5%）と続いています。

	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	税金や保険料などの負担	親などの介護	貯蓄や資産（借金や負債）	家族の進学、就職、結婚などの問題	仕事や職場のこと	家族・親族間の人間関係	自分の進学、就職、結婚などの問題	近所との人間関係	その他	不安に感じることはない	無回答	回答者数	回答個数（平均）	
全体	64.9	56.8	55.5	42.4	35.6	27.0	25.8	16.7	14.5	7.9	7.0	6.8	2.5	4.7	0.7	974	3.7	
性別	男性	62.9	52.0	52.0	41.2	38.0	24.0	26.5	14.0	17.0	6.8	8.6	6.3	2.7	5.9	0.9	442	3.6
	女性	67.1	61.6	58.7	43.2	33.9	29.1	24.8	19.0	12.6	8.9	5.8	7.2	2.3	3.7	0.2	516	3.8
年代別	10歳代	37.5	37.5	18.8	43.8	25.0	31.3	31.3	12.5	12.5	6.3	68.8	6.3	6.3	25.0	0.0	16	3.6
	20歳代	44.9	46.4	26.1	55.1	31.9	26.1	27.5	14.5	37.7	8.7	36.2	4.3	0.0	4.3	0.0	69	3.6
	30歳代	60.4	59.5	51.4	49.5	43.2	43.2	38.7	19.8	25.2	7.2	13.5	9.9	1.8	4.5	0.9	111	4.3
	40歳代	58.0	55.1	54.5	44.9	36.9	42.0	38.1	30.7	22.2	10.2	6.8	5.7	3.4	4.5	0.6	176	4.1
	50歳代	65.7	57.9	71.3	52.8	36.5	44.4	31.5	20.8	14.6	9.0	2.2	7.3	1.7	1.7	0.0	178	4.2
	60歳代	67.3	57.9	64.2	37.7	37.1	16.4	19.5	12.6	6.9	6.9	0.0	4.4	2.5	4.4	0.0	159	3.4
	70歳以上	77.6	60.8	52.4	28.8	32.4	2.8	10.0	6.4	3.2	6.8	0.4	8.0	3.2	6.0	1.6	250	3.0

（単位：％）

（上位5項目の過去との比較）

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和3年度	自分の健康・病気 64.9%	家族の健康・病気 56.8%	老後の生活 55.5%	今後の収入 42.4%	税金や保険料 などの負担 35.6%
令和2年度	自分の健康・病気 63.2%	家族の健康・病気 55.9%	老後の生活 55.9%	今後の収入 41.3%	税金や保険料 などの負担 34.0%
		老後の生活 55.9%			
令和元年度	自分の健康・病気 64.0%	老後の生活 62.9%	家族の健康・病気 58.6%	今後の収入 45.0%	税金や保険料 などの負担 42.3%
平成30年度	自分の健康・病気 63.9%	老後の生活 59.9%	家族の健康・病気 54.6%	今後の収入 44.4%	税金や保険料 などの負担 39.0%
平成29年度	自分の健康・病気 62.3%	老後の生活 59.9%	家族の健康・病気 54.6%	今後の収入 41.9%	税金や保険料 などの負担 39.3%
平成28年度	自分の健康・病気 60.8%	老後の生活 59.7%	家族の健康・病気 54.3%	今後の収入 42.7%	税金や保険料 などの負担 39.7%

【上位5項目の経年比較】

前回と比べ、上位5項目に変化は見られませんが、前回第2位であった「老後の生活」が第3位となっています。

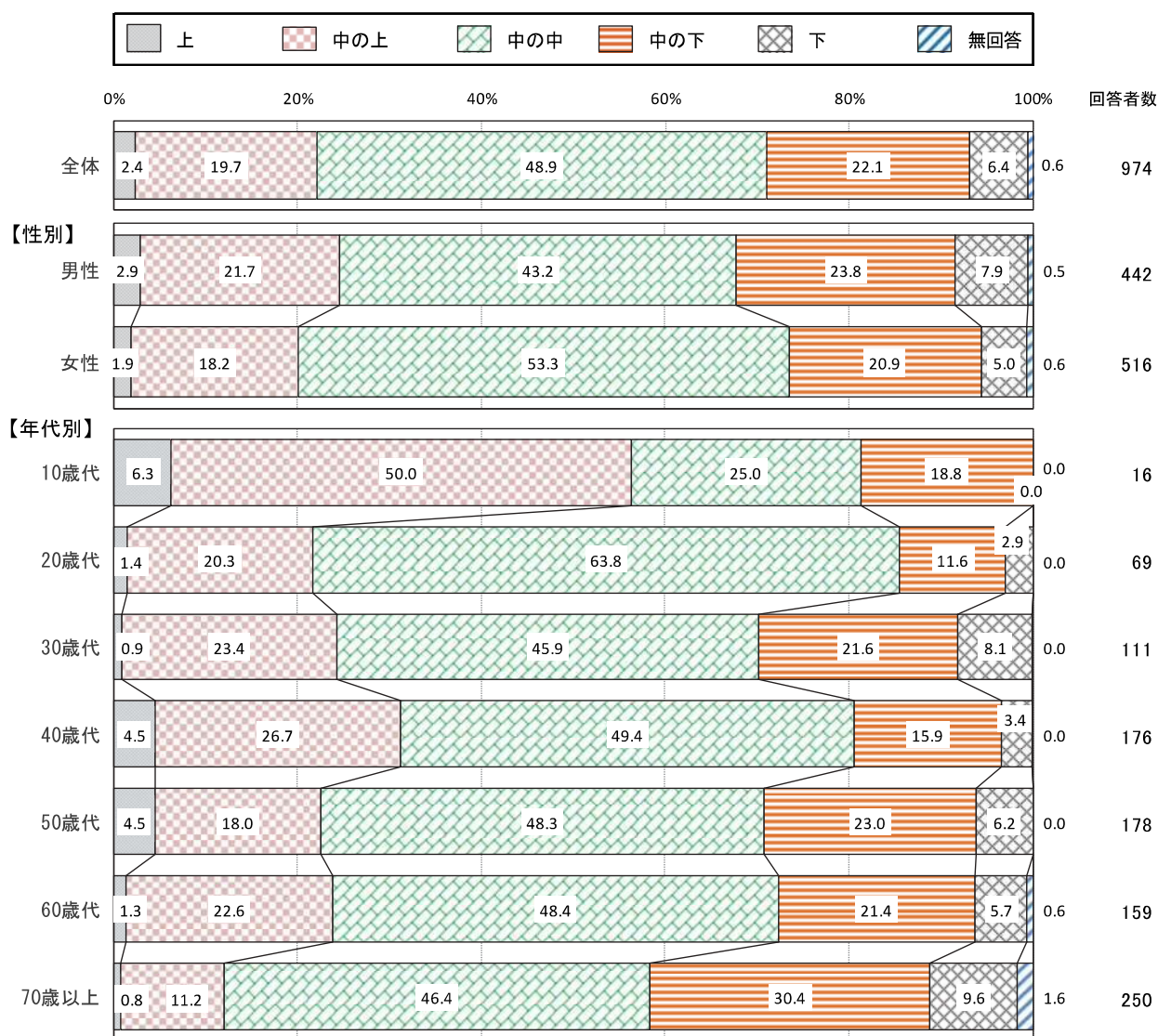
【性別比較】

今後の生活に不安を感じる事として「家族の健康・病気」と答えた人の割合は、女性（61.6%）の方が、男性（52.0%）より、9.6ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「老後の生活」と答えた人の割合は、50歳代（71.3%）の方が、10歳代（18.8%）より、52.5ポイント高くなっています。

(12) 家庭の生活の程度 (問 12・S A)



◆ 家庭の生活の程度は、世間一般からみてどうだと思いかとたずねたところ、「中の中」(48.9%)と答えた人が約5割で最も多く、次いで「中の下」(22.1%)、「中の上」(19.7%)と続いています。

【性別比較】

自分の生活の程度が「中の中」と答えた人は、女性(53.3%)の方が、男性(43.2%)より、10.1ポイント高くなっています。

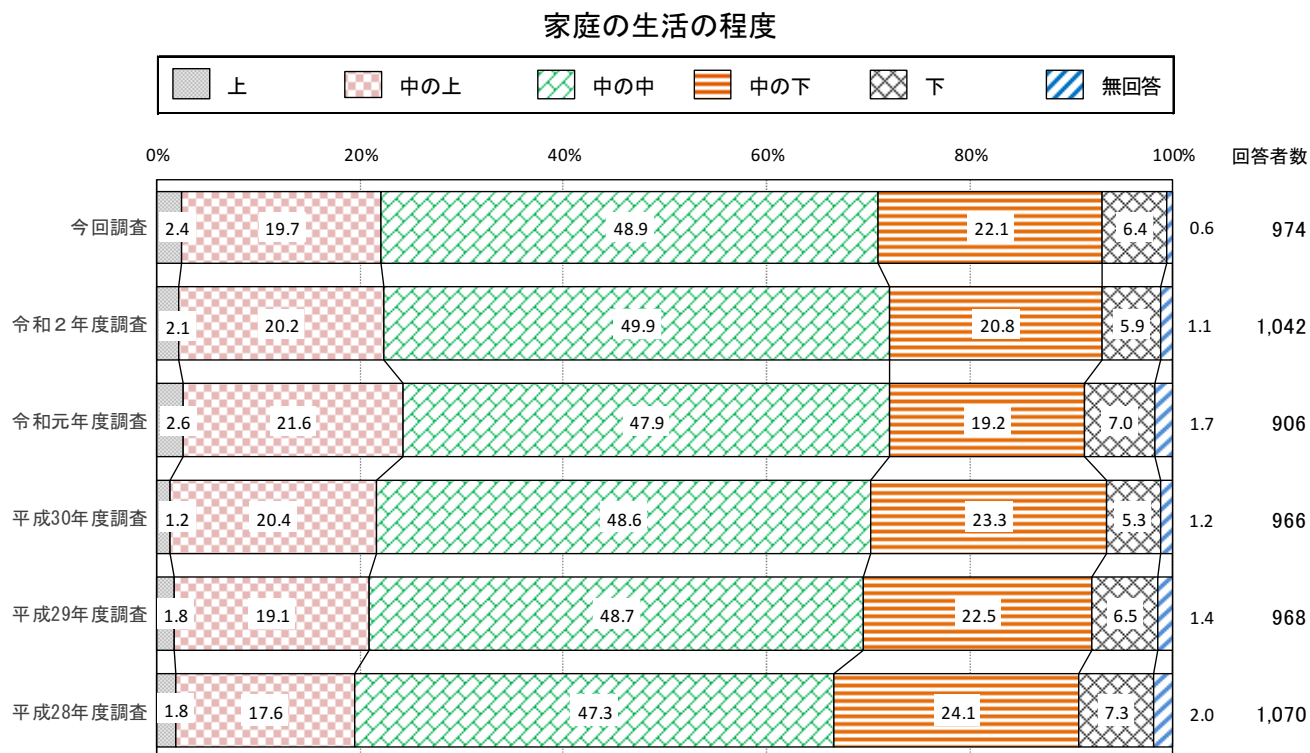
【年代別比較】

自分の生活の程度が「中の上」と答えた人の割合は、10歳代(50.0%)の方が、70歳以上(11.2%)より、38.8ポイント高くなっています。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

◆ 調査方法や標本数が異なるため単純な増減の比較はできませんが、「中の中」と答えた人の割合は約5割で推移しており、過去の調査から大きな変化は見られませんでした。

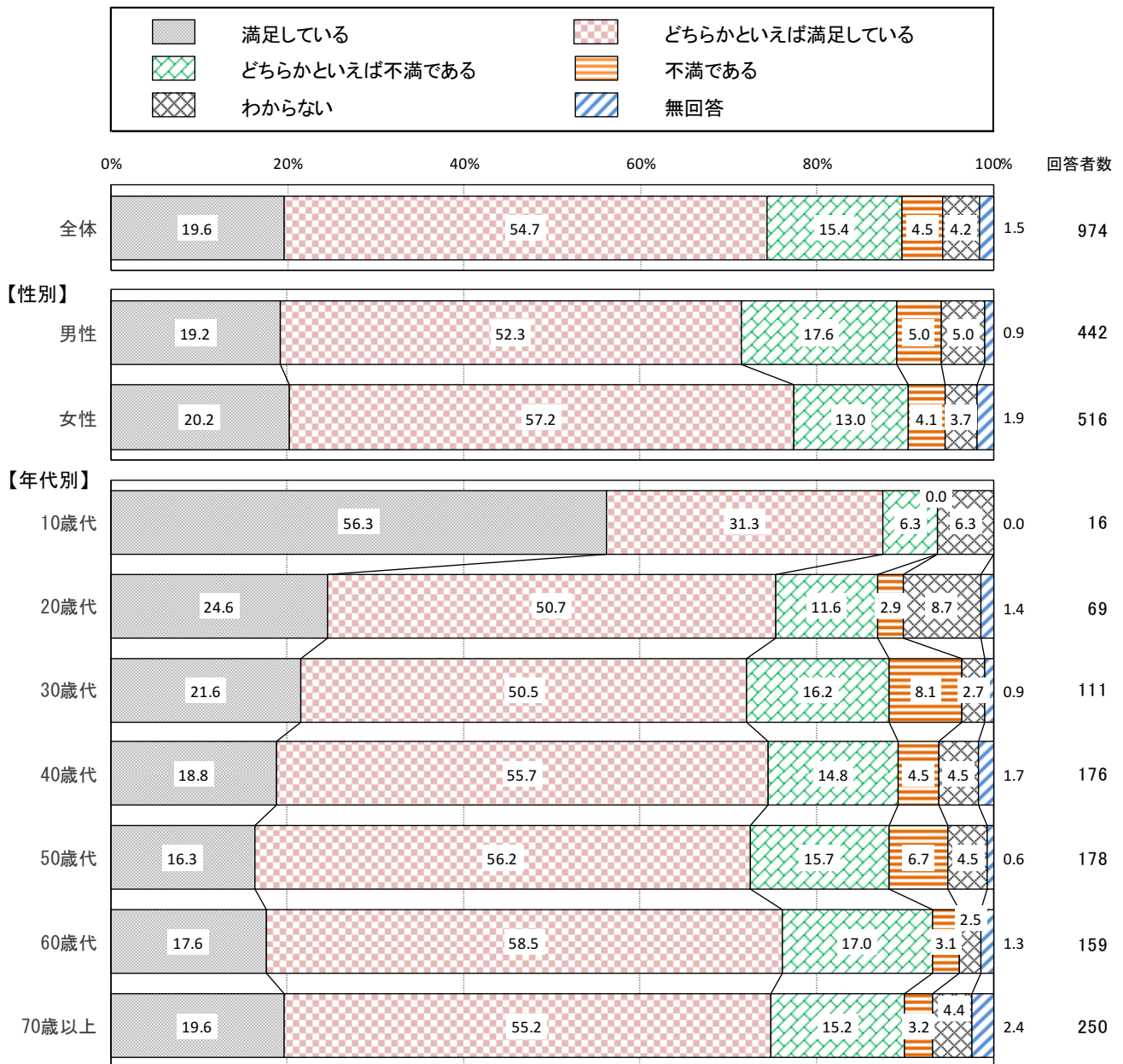


資料：名古屋市「市政世論調査」

(平成28年度、平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度
(今回の調査))

※各調査の詳細については、P. 3参照

(13) 生活の満足度 (問 13・S A)



◆ 現在の生活に満足しているかとたずねたところ、「満足している」と答えた人は19.6%、「どちらかといえば満足している」と答えた人は54.7%で、あわせると、満足している人は7割以上(74.3%)でした。

一方、「不満である」と答えた人は4.5%、「どちらかといえば不満である」と答えた人は15.4%で、あわせると、不満である人は約2割(19.9%)でした。

【性別比較】

「満足している」と「どちらかといえば満足している」と答えた人をあわせた割合は、女性(77.4%)の方が、男性(71.5%)より、5.9ポイント高くなっています。

【年代別比較】

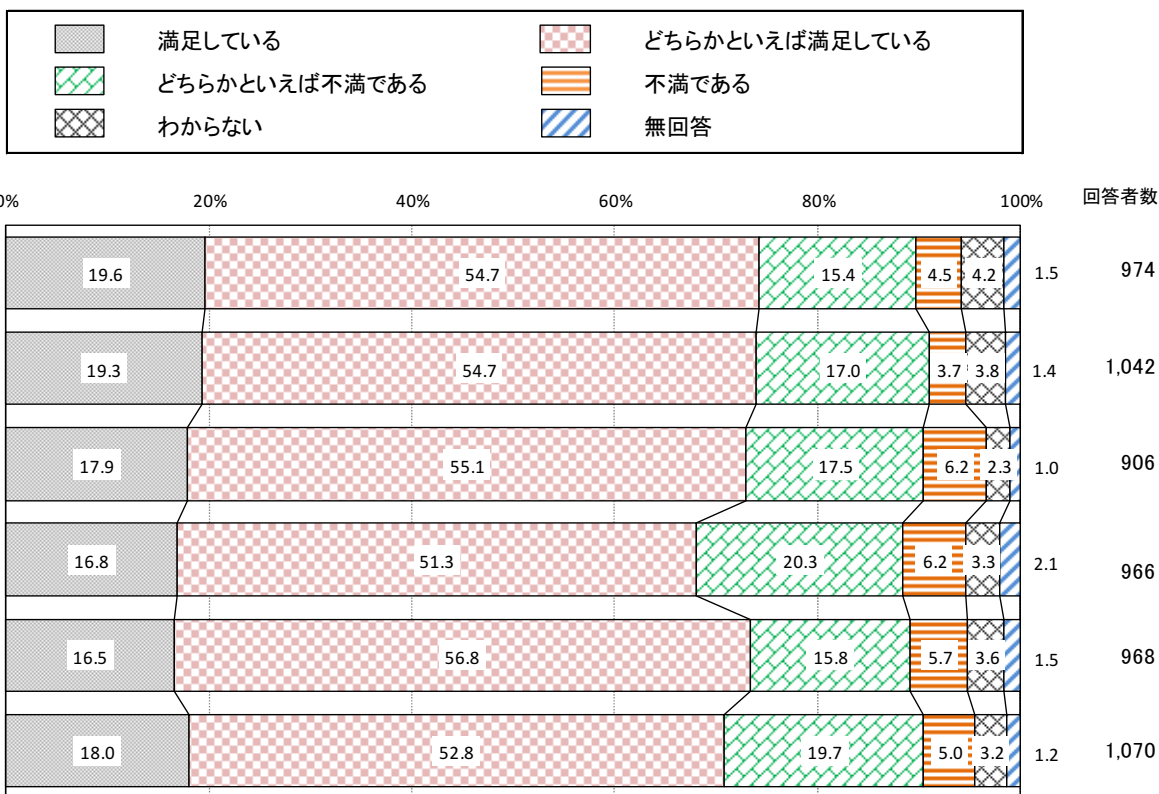
「満足している」と「どちらかといえば満足している」と答えた人をあわせた割合は、10歳代(87.6%)の方が、30歳代(72.1%)より、15.5ポイント高くなっています。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

◆ 調査方法や標本数が異なるため単純な増減の比較はできませんが、「満足している」と「どちらかといえば満足している」と答えた人をあわせた割合は、平成30年度に6割台となったのを除いて、7割台で推移しています。

生活の満足度

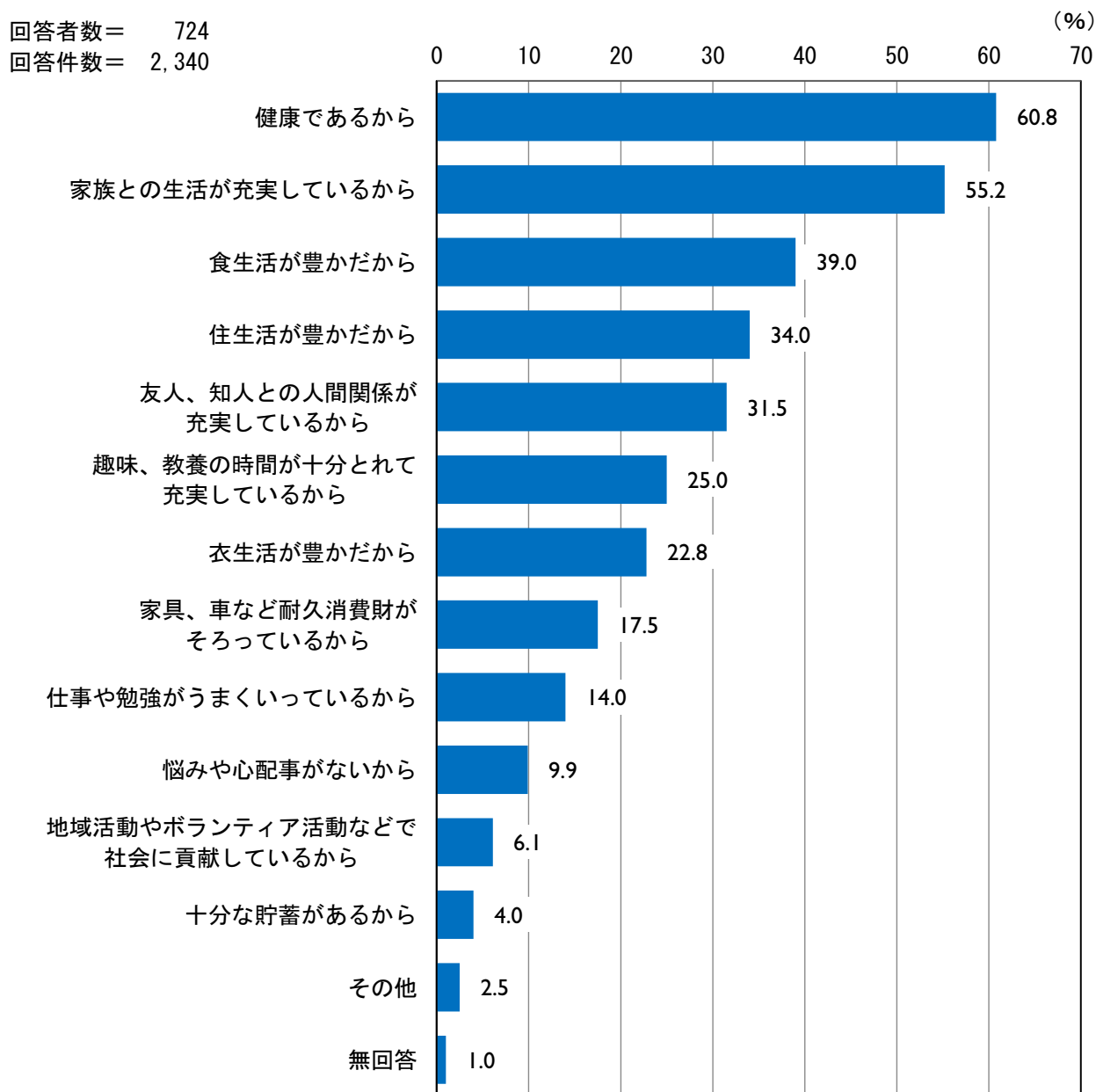


資料：名古屋市「市政世論調査」

(平成28年度、平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度
(今回の調査))

※各調査の詳細については、P. 3 参照

(14) 生活に満足している理由 (問 14・MA)



- ◆ 現在の生活に満足していると答えた人に、その理由をたずねたところ、「健康であるから」(60.8%)と答えた人が約6割と多く、次いで「家族との生活が充実しているから」(55.2%)、「食生活が豊かだから」(39.0%)と続いています。

	健康であるから	家族との生活が充実しているから	食生活が豊かだから	住生活が豊かだから	友人、知人との人間関係が充実しているから	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから	衣生活が豊かだから	家具、車など耐久消費財がそろっているから	仕事や勉強がうまくいっているから	悩みや心配事がないから	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	十分な貯蓄があるから	その他	無回答	回答者数	回答個数（平均）	
全体	60.8	55.2	39.0	34.0	31.5	25.0	22.8	17.5	14.0	9.9	6.1	4.0	2.5	1.0	724	3.2	
性別	男性	62.0	50.3	40.2	38.0	22.8	30.7	19.3	19.0	16.5	8.9	7.0	5.1	0.9	0.9	316	3.2
	女性	60.2	59.9	38.1	30.8	38.3	20.3	25.6	16.5	11.5	10.8	5.5	3.3	3.8	0.5	399	3.3
年代別	10歳代	71.4	57.1	71.4	64.3	64.3	50.0	50.0	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14	4.9
	20歳代	65.4	50.0	44.2	30.8	34.6	32.7	34.6	25.0	13.5	5.8	0.0	7.7	1.9	0.0	52	3.5
	30歳代	62.5	70.0	36.3	38.8	30.0	21.3	30.0	22.5	16.3	5.0	6.3	3.8	0.0	1.3	80	3.4
	40歳代	64.9	64.1	42.7	36.6	22.1	20.6	27.5	21.4	21.4	10.7	3.1	5.3	1.5	0.0	131	3.4
	50歳代	62.0	56.6	34.1	27.9	23.3	24.8	17.8	18.6	17.8	6.2	3.1	3.9	3.1	0.8	129	3.0
	60歳代	57.0	48.8	36.4	26.4	31.4	26.4	14.9	14.0	12.4	9.1	1.7	3.3	6.6	0.0	121	2.9
	70歳以上	57.2	49.2	39.0	38.0	41.2	24.1	19.8	12.8	5.3	15.5	14.4	3.2	1.6	1.6	187	3.2

(単位: %)

(上位5項目の過去との比較)

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和3年度	健康であるから 60.8%	家族との生活が充実しているから 55.2%	食生活が豊かだから 39.0%	住生活が豊かだから 34.0%	友人、知人との人間関係が充実しているから 31.5%
令和2年度	健康であるから 62.9%	家族との生活が充実しているから 53.4%	食生活が豊かだから 36.8%	友人、知人との人間関係が充実しているから 33.5%	住生活が豊かだから 32.6%
令和元年度	健康であるから 66.0%	家族との生活が充実しているから 54.3%	友人、知人との人間関係が充実しているから 35.1%	食生活が豊かだから 34.6%	住生活が豊かだから 33.1%
平成30年度	健康であるから 65.0%	家族との生活が充実しているから 55.3%	友人、知人との人間関係が充実しているから 35.3%	食生活が豊かだから 34.8%	住生活が豊かだから 32.2%
平成29年度	健康であるから 69.9%	家族との生活が充実しているから 52.3%	友人、知人との人間関係が充実しているから 35.4%	食生活が豊かだから 33.7%	住生活が豊かだから 30.0%
平成28年度	健康であるから 67.7%	家族との生活が充実しているから 56.3%	友人、知人との人間関係が充実しているから 37.6%	食生活が豊かだから 37.2%	住生活が豊かだから 34.4%

【上位5項目の経年比較】

前回と比べ、上位5項目に変化は見られませんが、前回第5位であった「住生活が豊かだから」が第4位、前回第4位であった「友人、知人との人間関係が充実しているから」が第5位となっています。

【性別比較】

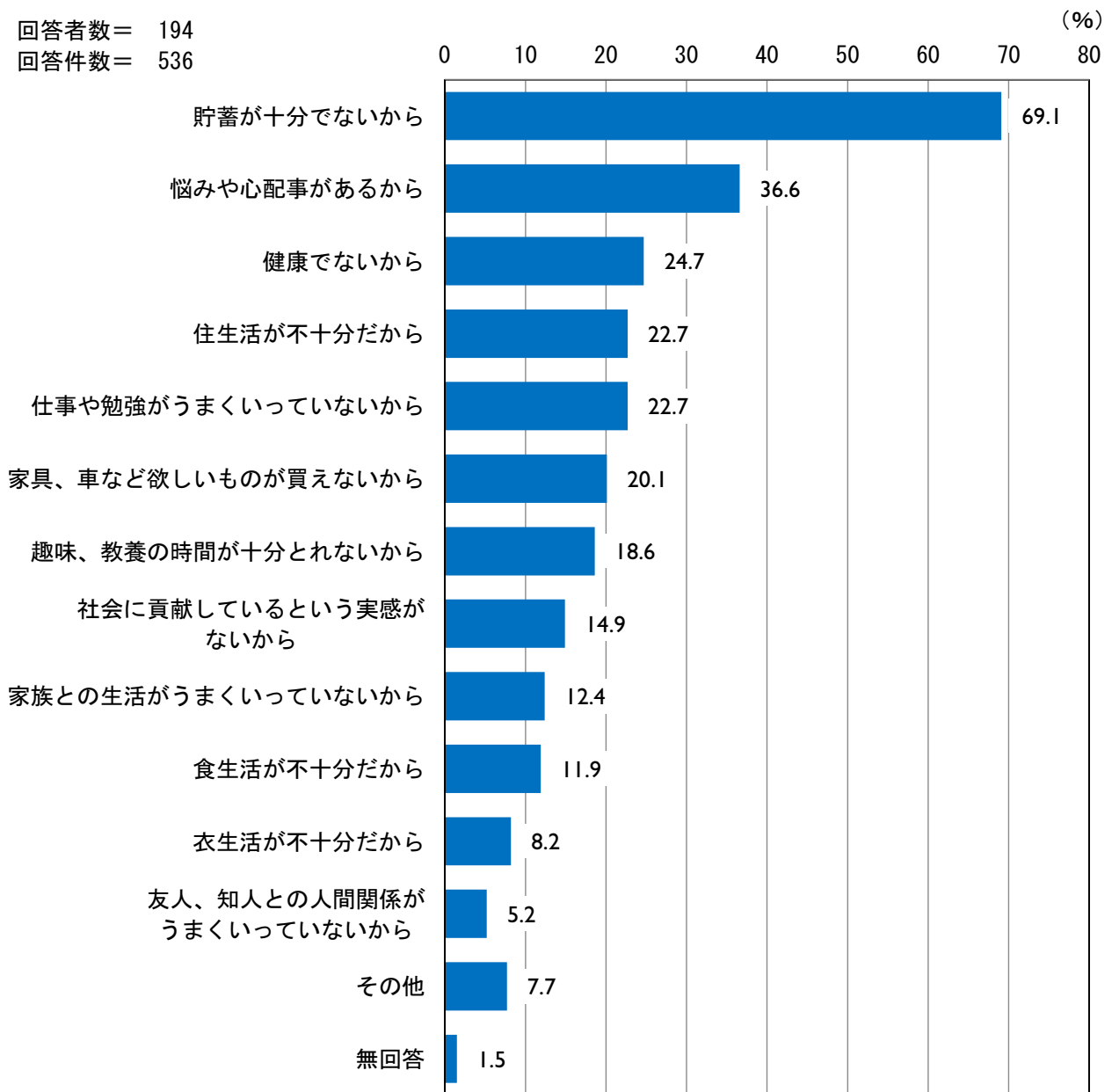
「友人、知人との人間関係が充実しているから」と答えた人の割合は、女性（38.3%）の方が、男性（22.8%）より、15.5ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「食生活が豊かだから」と答えた人の割合は、10歳代（71.4%）の方が、50歳代（34.1%）より、37.3ポイント高くなっています。

(15) 生活に不満である理由（問 15・MA）

回答者数 = 194
 回答件数 = 536



◆ 現在の生活に不満であると答えた人に、その理由をたずねたところ、「貯蓄が十分でないから」(69.1%)と答えた人が約7割で最も多く、次いで「悩みや心配事があるから」(36.6%)、「健康でないから」(24.7%)、「住生活が不十分だから」(22.7%)、「仕事や勉強がうまくいっていないから」(22.7%)と続いています。

	貯蓄が十分でないから	悩みや心配事があるから	健康でないから	住生活が不十分だから	仕事や勉強がうまくいっていないから	家具、車など欲しいものを買えないから	趣味、教養の時間が十分とれないから	社会に貢献していないから	家族との生活がうまくいっていないから	食生活が不十分だから	衣生活が不十分だから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	無回答	回答者数	回答個数(平均)	
全体	69.1	36.6	24.7	22.7	22.7	20.1	18.6	14.9	12.4	11.9	8.2	5.2	7.7	1.5	194	2.8	
性別	男性	72.0	25.0	21.0	18.0	27.0	26.0	21.0	17.0	6.0	11.0	6.0	5.0	5.0	1.0	100	2.6
	女性	68.2	48.9	29.5	27.3	18.2	14.8	17.0	12.5	20.5	13.6	10.2	5.7	10.2	2.3	88	3.0
居住歴別	5年未満	92.3	23.1	7.7	7.7	53.8	23.1	38.5	23.1	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	13	2.8
	5年以上10年未満	66.7	50.0	25.0	25.0	33.3	16.7	33.3	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0	12	3.1	
	10年以上20年未満	75.0	31.3	18.8	31.3	18.8	25.0	18.8	12.5	25.0	6.3	12.5	0.0	6.3	6.3	16	2.9
	20年以上30年未満	71.4	38.1	19.0	19.0	33.3	33.3	23.8	14.3	4.8	14.3	4.8	4.8	0.0	21	2.9	
	30年以上	66.7	37.3	28.6	22.2	16.7	17.5	15.1	15.1	14.3	12.7	7.1	6.3	8.7	1.6	126	2.7

(単位：%)

(上位5項目の過去との比較)

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和3年度	貯蓄が十分でないから 69.1%	悩みや心配事があるから 36.6%	健康でないから 24.7%	住生活が不十分だから 22.7% 仕事や勉強がうまくいっていないから 22.7%	
令和2年度	貯蓄が十分でないから 64.4%	悩みや心配事があるから 34.3%	健康でないから 29.6%	家具、車など欲しいもの が買えないから 23.1%	趣味、教養の時間が 十分とれないから 17.6%
令和元年度	貯蓄が十分でないから 66.5%	悩みや心配事があるから 41.9%	住生活が不十分だから 27.0%	健康でないから 24.7%	趣味、教養の時間が 十分とれないから 23.7%
平成30年度	貯蓄が十分でないから 65.6%	悩みや心配事があるから 37.5%	健康でないから 27.3%	住生活が不十分だから 23.4%	趣味、教養の時間が 十分とれないから 22.3%
平成29年度	貯蓄が十分でないから 64.9%	悩みや心配事があるから 39.9%	健康でないから 28.4%	住生活が不十分だから 22.1%	家具、車など欲しいもの が買えないから 21.2%
平成28年度	貯蓄が十分でないから 70.9%	悩みや心配事があるから 34.7%	健康でないから 26.0%	家具、車など欲しいもの が買えないから 21.5%	住生活が不十分だから 18.9%

【上位5項目の経年比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、前回と比べ、第1位から第3位に変化は見られませんが、前回調査では上位5項目外であった「住生活が不十分だから」と「仕事や勉強がうまくいっていないから」が第4位となっています。また、前回第4位であった「家具、車など欲しいものを買えないから」と前回第5位であった「趣味、教養の時間が十分とれないから」は、今回の調査で上位5項目外になっています。

【性別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「悩みや心配事があるから」と答えた人の割合は、女性(48.9%)の方が、男性(25.0%)より、23.9ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「貯蓄が十分でないから」と答えた人の割合は、5年未満(92.3%)の方が、5年以上10年未満(66.7%)、30年以上(66.7%)より、25.6ポイント高くなっています。